No. 1

第三国集団研修 事前調査団報告書 —メキシコ 海運経営・港湾管理講座— 1996年9月 国際協力事業団

第三国集団研修 事前調査団 報告書

—メキシコ 海運経営・港湾管理講座—

1996年9月

JICA LIBRARY
J 1139453 [3]

国際協力事業団
研修事業部

JICA
615
72
TAS
LIBRARY

研 二
JR
96-21

第三国集団研修 事前調査団 報告書

－メキシコ 海運経営・港湾管理講座－

1996年9月

国際協力事業団
研 修 事 業 部

1139453 (3)

序　　　文

第三国集団研修とは、社会的、文化的、言語的に共通の基盤をもつ一定の開発途上地域に研修実施国を選定し、そこに当該地域内の途上国からの研修員を受け入れ、より現地事情に適した技術・知識の移転を図り、これにより開発途上国間協力の推進に寄与し、将来的には実施国が独自に研修員受入事業を実施できるよう協力することを目的としている。

本報告書は、1996年度(平成8年度)にメキシコ合衆国から要請のあった第三国集団研修「海運経営・港湾管理講座」について、その実施可能性を総合的に調査するため、平成8年8月5日から8月21日まで国際協力事業団がメキシコ合衆国に派遣した事前調査団の調査結果をとりまとめたものである。

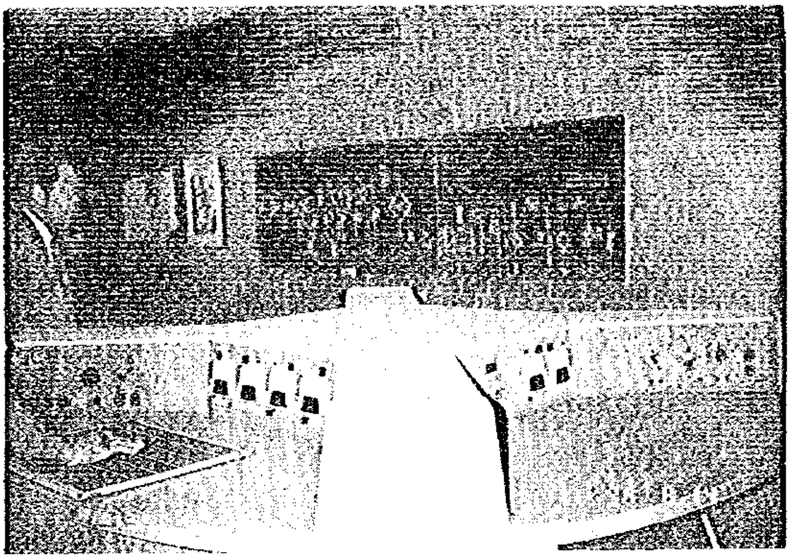
メキシコは、これから中米・カリブ地域における南南協力の中心となっていく国であり、今後、第三国研修の案件数が増大する可能性が極めて高いと言える。そういった点からも、本報告書を通じ、関係者が第三国研修についての理解をより深め、同国における第三国研修のよりよい展開に資することができれば幸いである。

最後に、本調査団の実施に際し、ご協力を頂いた外務省、運輸省、在メキシコ合衆国日本国大使館及びメキシコ合衆国の関係諸機関に対し、深甚な謝意を表する次第である。

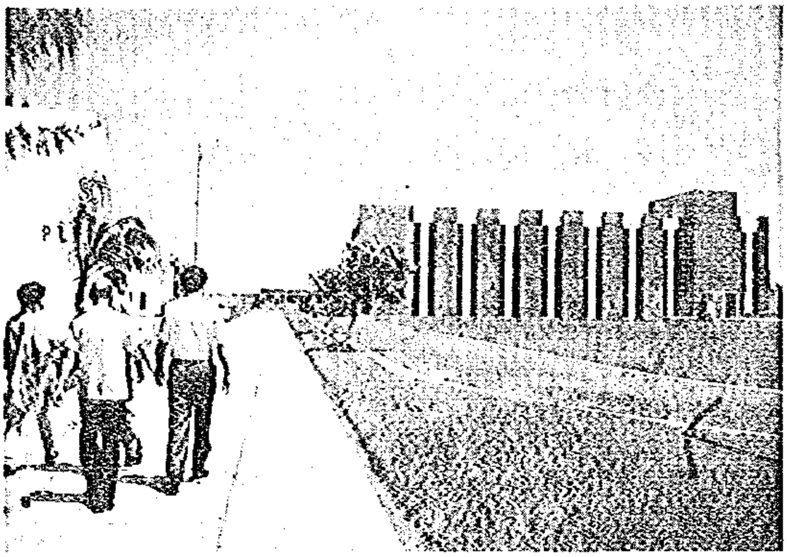
平成8年9月

国 際 協 力 事 業 団
研修事業部長　　森本　勝

実施機関
(ベラクルス商船大学)
視察①
(実験室)

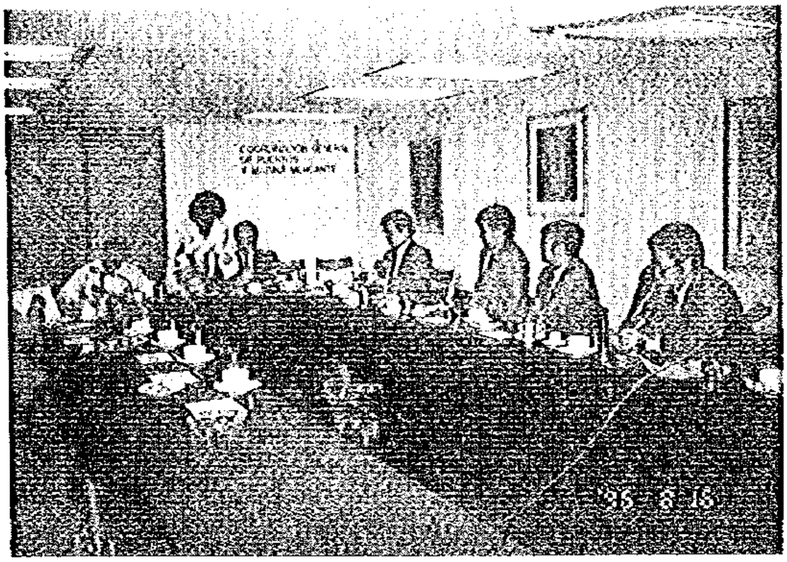


実施機関
視察②
(構内)



実施機関との協議
(写真左より小原団員、竹本団員、一人おいて三澤団長、SUAREZ校長、国立船員教育基金MURIEL部長、井澤専門家、同基金ZAMBRANO課長)

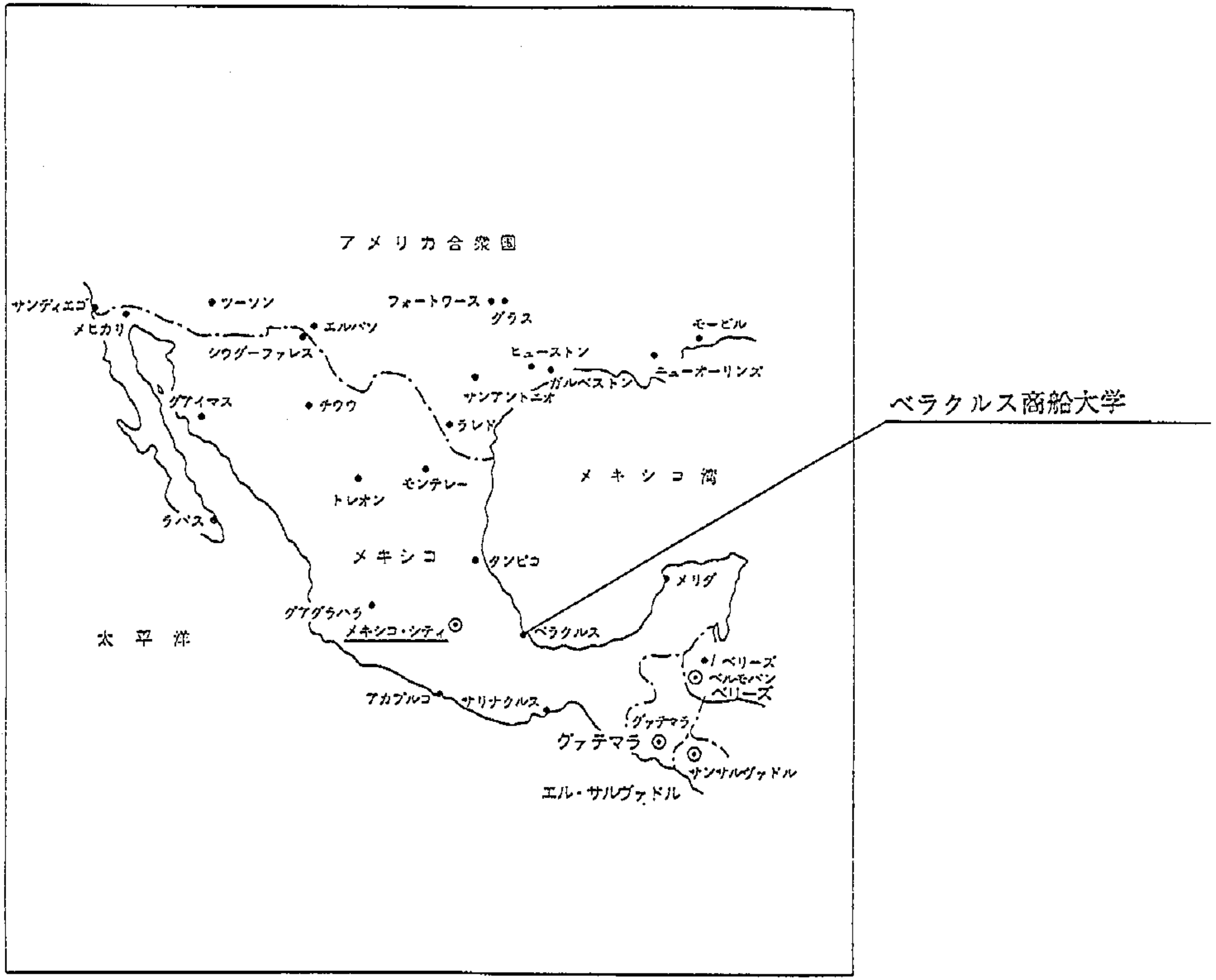
通信運輸省における
ミニッツ署名式
(写真右より、メキシコ事務所松山職員、一人おいて木下所長、メキシコ大使館石井書記官、正面向かって左がBERMUDEZ調整次官)



ミニッツ署名
(写真左端が国立船員教育基金CORRES総裁)

ミニッツ交換

位置図



アメリカ合衆国
サンディエゴ
メヒカリ
ツーソン
エルパソ
シウダーファレス
フォートワース
ダラス
ヒューストン
ガルベストン
サンアントニオ
モービル
ニューオーリンズ
グアイマス
チワワ
ラレド
ラパス
トレオン
モンテレー
メキシコ湾
メキシコ
タンピコ
メリダ
グアダラハラ
メキシコ・シティ
ベラクルス
太平洋
ベリーズ
ベルモパン
アカプルコ
サリナクルス
グァテマラ
サンサルヴァドル
エル・サルヴァドル
ベラクルス商船大学

要約

平成8年度(1996年)、メキシコ合衆国政府は、海運経営・港湾管理分野の第三国集団研修の実施を我が国に対し、要請越した。

これを受けて、国際協力事業団は、同年8月5日～8月21日までメキシコ合衆国に事前調査団を派遣し、墨国側の要請背景・内容を確認し、墨国側関係機関であるベラクルス商船大学の研修実施体制を確認するともに、第三国集団研修の実施基本方針の策定を行った。

墨国側関係機関と事前調査団の協議結果はミニッツに取りまとめられ、8月15日三澤団長と、通信運輸省調整次官Mr.Pedro Pablo Zepeda Bermudez、国立船員教育基金総裁Mr. Jorge Corres Soto、及びベラクルス商船大学校長Mr.Angel Suarez Vallejoとの間で署名交換された。

目　次

序　文
写　真
地　図
要　約

1. 事前調査団の派遣 1
  1.1 派遣の経緯と目的 1
  1.2 団員構成 1
  1.3 調査日程 2
  1.4 主要面談者 3

2. 周辺国のニーズ 4

3. 第三国集団研修基本計画にかかる協議結果 5
  3.1 コース名 5
  3.2 目的 5
  3.3 到達目標 5
  3.4 研修時期・協力期間 5
  3.5 カリキュラム 5
  3.6 割当国 6
  3.7 定員 6
  3.8 資格要件 6
  3.9 経費負担 6

4. 第三国研修実施体制 7
  4.1 実施機関の組織及び事業概要 7
  4.2 実施機関の研修指導能力及び研修運営管理能力 8
  4.3 実施機関の施設・建物・機材等 8

5. 関連する日本の他の技術協力 10

6. 日本側の協力 11
  6.1 協力の目的と必要性 11
  6.2 経費分担 11
  6.3 日本人専門家派遣 11
  6.4 カウンターパート（C/P）の受入 11

7. 団長所感 12

付属資料：
  別添 1. 英文調査ミニッツ（R/D 案含む） 17
  別添 2. 西文調査ミニッツ（R/D 案含む） 40
  別添 3. 調査結果概要 63
  別添 4. メキシコ海運港湾関連事情 66
  別添 5. 第三国研修に関わる経緯 74
  別添 6. 短期専門家講義テーマ（メキシコ側提示案） 77
  別添 7. 短期専門家講義テーマ（日本側提示案） 78
  別添 8. 研修員 Application Form 79
  別添 9. 研修員 Country Report Form 82

１．事前調査団の派遣

１．１　派遣の経緯と目的

メキシコ国は、伝統的に船員教育に力を入れており、また、前サリーナス政権の下、港湾事業の近代化にも取り組んだ実績を持っている。こうした背景のもと、それまで余り取り組まれてこなかった海運経営に関する教育・研究分野を強化するために、我が国に対する協力の要請があり、これを受けて、１９８９年９月より個別専門家派遣による技術協力が開始され、その技術移転の成果は同大学に着実に蓄積されてきた。同大学では国内の海運・港湾関係者を対象とした「海運・港湾セミナー」が実施されており、蓄積された成果普及の実績もあり、近隣諸国へ技術移転する上での実施能力は十分であると評価されている。

こうした背景から、メキシコ政府は（１）海運経営・港湾管理技術の周辺国への移転促進、及び（２）周辺国における海運経営・港湾管理技術者の育成を目的として、ラテン・アメリカ諸国を対象とする第三国集団研修の実施を我が国に要請越した。

本調査においては以上の経緯を踏まえ、研修計画の詳細を先方と協議し、関係の調査を行うことにより、本件第三国集団研修実施計画のとりまとめを行った。

１．２　団員構成

団長／総括	三澤　吉孝	国際協力事業団　筑波国際センター研修第一課長
海運経営	小原　得司	運輸省　海上交通局外航課　海運渉外官
研修計画	竹本　啓一	国際協力事業団　研修事業部研修第二課　職員

１．３　調査日程
（本調査団は、前半にもうひとつの第三国集団研修「教育テレビ番組総合制作」の事前調査を行い、後半に「海運経営・港湾管理講座」の事前調査を行った。）

日　付	行　程	調査内容
8／5（月）	（三澤団長、竹本団員） 成田（✈ JL 012） ⇨ﾒｷｼｺ･ｼﾃｨｰ	（三澤団長、竹本団員　　移　動）
6（火）		日本大使館表敬 ＪＩＣＡ事務所打ち合わせ 外務省科学技術協力局表敬
7（水） 〜 8（木）		「教育テレビ番組総合制作」事前調査
9（金）	（小原団員） 成田（✈ JL 062） ⇨LA（✈ MX 901） ⇨ﾒｷｼｺ･ｼﾃｨｰ	通信運輸省国立船員教育基金表敬 （小原団員　来墨）
10（土）		資料整理、団内打ち合わせ
11（日）		（ベラクルス州に移動）
12（月）		ベラクルス商船大学視察 井澤専門家との打ち合わせ 学長による大学概要説明 井澤専門家Ｃ／Ｐとの会談
13（火）		メキシコ側との協議、Ｍ／Ｍ案作成
14（水）		ミニッツ協議
15（木）		（メキシコ・シティへ移動） 通信運輸省にてＭ／Ｍ署名・交換
16（金）		外務省科学技術協力局報告 日本大使館報告 ＪＩＣＡ事務所報告 （マサトランへ移動） マサトラン商船大学視察
17（土）		資料整理・団内打ち合わせ
18（日）		（メキシコ・シティへ移動）
19（月）		最終団内打ち合わせ
20（火）	（三澤団長、小原団員、竹本団員） ﾒｷｼｺ･ｼﾃｨｰ （✈ JL 011） ⇨成田	（三澤団長、小原団員、竹本団員 移　動）
21（水）		

1．4　主要面談者

Ministry of Foreign Affairs

MS. CRISTINA RUIZ RUIZ	Director, Demanda de Cooperacion Tecnica, Direccion General de Cooperacion Tecnica y Cientifica
MR.FERAIN DEL ANGEL RAMIREZ	Subdirector, Demanda de Cooperacion Tecnica, Direccion General de Cooperacion Tecnica y Cientifica
MS.MONICA BARAJAS CEDILLO	Staff, Demanda de Cooperacion Tecnica, Direccion General de Cooperacion Tecnica y Cientifica

Ministry of Communication and Transports

MR. PEDRO PABLO ZEPEDA BERMUDEZ	Coordinator General, Ports and Merchant Marine

Fideicomiso de Formacion y Capacitacion para Personal de la Marina Mercante Nacional (FIDENA)

MR. JORGE CORRES SOTO	Director General
CAP.LUIS IGNACIO MURIEL DEL CASTILLO	Director, Maritime Education and Training
MS.LOURDES ZAMBRANO RAMOS	Chief, International Affairs, Maritime Education and Training

Merchant Marine Academy of Veracruz

CAP.ANGEL SUAREZ VALLEJO	Director
井澤　徹郎	JICA派遣専門家
MR.JOSE DEL CARMEN LATOURNERIE SANCHEZ	井澤専門家Counterpart
MS.JULIA GARCIA GARCIA	井澤専門家Counterpart
MR.OMAR ESPINOSA PEREZ	井澤専門家Counterpart
MR.ALEJANDRO CSTRO GUTIERREZ	井澤専門家Counterpart
CAP.CARLOS DEMETRIO GNZALEZ CARRERA	井澤専門家Counterpart
MR.FERNANDO MAXIMILIANO CORDOVA ESCOBEDO	井澤専門家Counterpart
MR.GABRIEL ISSAC COBOS ESTRADA	井澤専門家Counterpart
PIL.BERNARDO FLORES HERRERA	井澤専門家Counterpart

Port of Veracruz

MR.HERMAN L. DEUTSCH	Director, Marketing and Sales

Merchant Marine Academy of Mazatlan

CAP.RAFAEL VAZQUEZ ROMELLON	Director
MR.ALFONSO FILIPPINI AGUAYO	Instructor
MR.LUIS A. VEGA SANCHEZ	Instructor
CAP.RAMON AGUAYO GARCIGLIA	Instructor

在墨日本国大使館

石井　昌平	二等書記官
渡辺　卓実	二等書記官

JICAメキシコ事務所

木下　建	所長
松山　博文	所員

（日西通訳：　八木　優子）

2．周辺国のニーズ

周辺国は大なり小なり自国の外航海運を有しているが、その経営手法はそれぞれが独立当時に存在していたものをベースに旧態然とした海運経営や港湾の管理を行っている。海運先進国においても、これらの経営・管理に関する知識は主として民間企業に蓄積され、改善されてきているものであり、発展途上にある国にとっては蓄積されにくい分野となっている。

また、これら中米・カリブ諸国にはこのような研修・教育機関はなく、必要な知識は外国の専門家派遣に頼るか、若しくは担当者を海外に派遣して外国のノウハウを学ぶしかない。従って、メキシコにおいて類似の歴史的・文化的な背景を有する周辺国を集めて行われる第三国研修の持つ意味は大きく、そのニーズも高い。

運輸通信省国立船員教育基金（ＦＩＤＥＮＡ）が１９９５年９月に行った研修ニーズ調査によれば、以下のような１７カ国、２２機関からコース参加の意志表示があった。

国　名	機関数	国　名	機関数
アルゼンチン	1	ハイチ	1
ボリビア	1	ホンジュラス	2
チリ	1	ジャマイカ	1
コスタリカ	1	ニカラグア	1
キューバ	1	パナマ	2
エクアドル	3	ペルー	1
エルサルバドル	1	ウルグアイ	1
グアダルーペ	1	ベネズエラ	1
グアテマラ	2（５名）		

合　計　１７カ国　　２２機関（２５名）

3．第三国集団研修基本計画にかかる協議結果[注1]

3．1コース名

英文名称：International Training Course on Shipping and Port Management
和文名称：海運経営・港湾管理講座

3・2目的

ラテン・アメリカ諸国からの参加者に対し、海運経営・港湾管理分野に関する知識を向上させる機会を提供することを主目的とする。

3．3到達目標

以下の内容についての知識を修得することを目標とする。
（1）海運経営及び船隊整備
（2）油等貨物運送における船主責任及び海上保険
（3）あらゆる種類の海上運送契約
（4）港湾組織及び管理

3．4研修時期・協力期間

第一回目　　：　　１９９７年2月１７日から3月２６日（３８日間）
第二回目以降：　　とりあえず、ペンディングとする。

協力期間：１９９６年度から２０００年度（5年間）

（補足）
本件は今年度に是非実施してほしいとの日本側の意向を伝えたところ、メキシコ側より、可能である旨、回答を得た。ただし、（1）2月のカーニバルの時期を避けたい（ベラクルスの治安が極端に悪化する）、（2）3月のセマナ・サンタ（聖週間、国民的休暇の時期）を避けたい、とのメキシコ側の要望を考慮し、上記期間に決定した。
なお、メキシコ側より、この期間は必ずしも、研修員がベラクルスに集まるのに適した時期ではない旨の指摘があった（ノルテと呼ばれる非常に強い北風が吹くため）。従って、第二回目以降は、より気候のよい時期に研修を実施したいとのことであったが、研修準備のために、第一回目と第二回目の研修実施時期を適度に離すことを考慮する必要もあり、とりあえず、第二回目以降の実施時期についてはペンディングとした。

3．5カリキュラム

カリキュラムの内容については、細かい語句や用語等の修正は行ったが、基本的にメキシコ側要請のとおりとした。なお、詳細については、別添R／D（案）ANNEX I　"TENTATIVE CURRICULUM"　を参照のこと。

[注1] 要請内容との相違については、添付資料「協議結果」を参照のこと

3．6割当国

中米・カリブ9ヵ国（ベリーズ、コスタ・リカ、エル・サルヴァドル、グァテマラ、ホンデュラス、ジャマイカ、ニカラグァ、ハイティ、パナマ）
南米7ヵ国（アルゼンティン、ボリヴィア、チリ、ペルー、エクアドル、ウルグァイ、ヴェネズェラ）

（補足）
キューバ及びグァダルーペへの割当について、メキシコ側より要請があった（特にキューバは強い要請あり）が、以下の理由により、とりあえず、ペンディングとし、調査団が持ち帰り、外務本省の判断を仰ぐこととした。
（1）キューバへの新規の割当は日本の外交政策上、余り好ましくない。
（2）グァダルーペはDACリストに含まれていない（同地域のような独立国でない地域への研修員の割当は、香港等、実績はあるが、いずれの場合もDACリストに含まれている）。

3．7定員

19名
内訳　周辺国：16名（原則的に各国に1名を割り当てる）
　　　実施国：　3名

3．8資格要件

海運港湾分野における職歴が2年以上であること
40歳以下
大学卒業程度
決められた手続きに従い、割当国の外務省を通じて推薦され者
スペイン語が、会話、筆記ともに堪能な者
現在、海運港湾関連分野の業務に従事している者
心身ともに健康な者
軍人でない者

3．9経費負担

次の点を考慮して、メキシコ側要請の日本側経費負担案を検討し、最終的には、別添R／D（案）ANNEX III " TENTATIVE ESTIMATE OF EXPENSES" の形でまとまった。
（1）定員及び日当単価に若干の変更があるため、受入諸費、及び研修諸費のうち研修旅行費について修正する。
（2）資材費（コンピューター、プロジェクター等購入費）は、日本側は負担せず、メキシコ側が負担することとし、代わりに日本側は、メキシコ側負担の予定だったテキスト作成費を負担することとする。

なお、メキシコ側と日本側の経費分担がどのようになされているか、明確にするために、ANNEX III " TENTATIVE ESTIMATE OF EXPENSES" にメキシコ側経費分担も参考として添付した。

4.　第三国研修実施体制

4.1　実施機関の組織及び事業概要

（実施機関の組織）

通信運輸省海運局（実施に関する決定）
｜
国立船員教育基金（企画立案、予算要求等）
｜
ベラクルス商船大学（実施機関）

第三国研修の実施に関する組織は上記のとおりであるが、その具体的なカリキュラムの内容、期間、実施方案等は、１９９４年８月に国立船員教育基金の命を受けて、ベラクルス商船大学に設けられた「第三国研修準備委員会」で作成された。

なお、「第三国研修準備委員会」の構成は以下のとおり。

委員長　：ベラクルス商船大学学長
（委員長に対する技術アドバイザーとして個別専門家が参加）
副委員長：　〃　　副学長
技術担当：個別専門家のカウンターパート
企画担当：専任教授ほか３名　　計８名

（第１回第三国研修の実施内容）

（１）研修期間：１９９７年２月１７日～３月２６日（６週間）
（２）時間割　：土日を除き週５日間、毎日８時間の研修を行う。
（３）実施場所：ベラクルス商船大学構内
（４）講座数　：１０講座
（５）使用言語：スペイン語
（６）講師　　：個別専門家のカウンターパートを中核とし、これに国立船員教育基金、３商船大学の常勤教授から選定した１８名
（７）教材　　：個別専門家編集の講義録（テキスト）その他の資料

４．２　実施機関の研修指導能力及び研修運営管理能力

１９８９年９月以降個別専門家が２回にわたる派遣期間中に民間企業を含む様々なバックグラウンドを有するカウンターパートに対して行ってきた技術移転をベースとしており、個別専門家が各自の能力を評価しつつ有能なカウンターパートを確保してきている。

一方メキシコ政府側としても、ベラクルス商船大学の専任教授以外のカウンターパートについては、法律的なしばりは掛け得ないものの、その者を雇用する主体とベラクルス商船大学との間で道義的な紙面による協定を結び、第三国研修が実施される間（５年間）は少なくとも同大学での講師に専念できるようにしている。加えて、個別専門家の当該派遣期間中（１９９７年４月初旬まで）にできるだけ多く専任者の採用・技術移転を行い、カウンターパートの定着に努めることとしている。

また、個別専門家は、カウンターパートの研修能力の向上に資するため、技術移転の手法として他のカウンターパートに対する模擬講義や商船大学の学生に対する講義を行う実習を繰り返し行っている。

なお、第三国研修のリハーサルとして、１９９６年６月２４日から３週間かけて実際の１０テーマについて、予定されている講師による国内研修が行われ、大学、海運会社、港湾管理者、海運代理店、水先人、商社等からの参加者から高い評価を得ており、第三国研修のスムーズな実施運営が期待できる。

４．３　実施機関の施設・建物・機材等

ベラクルス商船大学の特別教室が第三国研修に使用される予定である。その規模は約３０名程度の受講者に講義を行うに適当な広さであり、マイク、ビデオ等の機材も整備されている。

しかしながら、備付けの空調設備は他の教室と同様に、室外機（ファン）が室内機と一体となったものであるため、通常の会話が騒音で聞こえにくい状態にある。

なお、第三国研修参加者の宿泊予定施設（ホテル）が商船大学正面の道路の反対側に位置しており便利である。

5．関連する日本の他の技術協力

・個別専門家派遣

協力の実績は以下のとおり。
1）専門家氏名： 井澤 徹郎
2）派遣期間 ： 1989年9月より1997年4月（当初、1992年9月までの
の 派遣予定を延長）
3）指導科目 ： 港湾・海運
4）メキシコでの所属先：
ベラクルス商船大学
5）C/Pの本邦研修状況：
a）個別C/P研修での受入：1名
ING.FERNANDO MAXIMILIANO CORDOVA ESCOBEDO
b）集団研修での受入： 6名
LIC.JUDITH REYES GALINDO
LIC.JESUS MANUEL NINO GARCIA
LIC.JOSE DEL CARMEN LATOURNERIE SANCHEZ
LIC.JULIA GARCIA GARCIA
CAPT.CARLOS DEMETRIO GONZALEZ CARRERA
ING.GABRIEL ISSAC COBOS ESTRADA

6．日本側の協力

6．1協力の目的と必要性

わが国が個別専門家派遣によって行った技術協力の成果を活用し、ラテン・アメリカ諸国から参加する海運経営及び港湾管理技術者に対し、海運経営及び港湾管理分野の知識修得の機会を提供し、参加研修員の知識をより深めさせ、ひいてはラテン・アメリカ地域の海運経営・港湾管理分野の発展に資することを目的とする。

6．2経費分担

第一回目コース実施にかかる日本側負担経費案及びメキシコ側負担経費案は次のように決定した。

1）日本側　　：76,345.8ドル
2）メキシコ側：14,052.0ドル

6．3日本人専門家派遣

第一回目コースへの専門家派遣について、日本側より1名、1週間程度で対応可能であることを説明し、早期の派遣要請の提出をメキシコ側に依頼した。

なお指導分野については、日本側とメキシコ側双方より提案がなされたが（添付資料6，7参照）、調査団来墨中には調整がつかなかったため、日本に持ち帰り、再度、日本側で対応可能な分野を十分検討することになった。

6．4　カウンターパート（C/P）の受入

今回の協議において、特にメキシコ側からは受入の要請はなかった。

7．団長所感

1．本件「海運経営・港湾管理」は、小生がメキシコ事務所在勤時（1988～90）において、藤田専門家から井澤専門家に引き継がれ、本格的に協力が開始された案件であり、井澤専門家（90.4～97.4）は、7年猶予に亘り日本人があまりいない現地に溶け込み、プロ技に勝るとも劣らない結果を残し、ここに第三国研修に結びつくことは誠に喜ばしいことであり、本専門家の活躍は賞賛に値するものと理解する。

2．実施時期については97年2月からとなったが、この時期はベラクルスにおいてはあまりいい時期とはいえない。その理由は、

イ．「ノルテ」（北風）の季節

ロ．2月10日からカーニバル

ハ．3月下旬、セマナサンタ

の悪条件の中であるが、今年度（96年日本会計年度）に限り2月実施とすることに決定した。97年度は時期の変更を検討せざるをえないであろう。

＊　メキシコは、1月～12月が会計年度

3．「国立船員教育基金」訪問時、これに伴う予算に関してコレス局長に質問したところ、自己収入があるので対応できる旨の発言があった。商船大学の上部機関が「国立船員教育基金」であることが1つの疑問点であったが、この話を聞くと運輸通信省の外郭団体として位置付けられているという一端がうかがえる。

4．カウンターパートについて

C/Pは10数名いるが、商船大学の専任教師のC/Pは少なく、その充実が期待される。これに関しては、メキシコ側、日本側とも同様な問題意識を持っており、M/M署名の席上、当方より「C/Pの充実」に関し、言及したところ、商船大学校長より2～3名の専任講師を雇用し、本案件のC/Pに割り当てる旨の発言があった。その時点で調整次官よりその予算措置につきコレス局長に指示があった。メキシコ側の対応の早さと意欲に期待することとしたい。

5．ソフトの移転について

この様なソフトの技術移転は、その終了時点又その効果を判断することは非常に難しい。

その理由として、イ．目に見える効果がないこと。

ロ．ソフトの中身は物によって年々、変わることがある。

が考えられる。これらを考慮すると、本分野に関して「第三国研修」の実施をもって一応技術移転終了と考えられるが、上記の「ロ」の様に毎年変更あるいは新しい知識の吸収については、C/Pの自助努力に期待するも、何等かの更なる協力が必要と考える。

6．懸案事項等

イ．割当国に関して、キューバ、グアダルーペを是非追加して欲しい旨要請があり、後者に関してはDACリスト外ということであるが、メキシコとカリブ諸国との友好関係という観点から、前向きに検討する価値はあると理解する。

ロ．又、第三国研修時において「特別講義」を実施する短期専門家の依頼があり、本件に関しても「ソフトの移転」は常に最新情報を提供することもポイントの１つと思われるので、派遣する方向で検討するのがベターと考える。

ハ．上記の２のように、事前調査団の派遣する年度に実施することは非常に無理があると思われるので、今後その時期等について検討する必要があると考える。

7．メキシコは１９９５年にOECDに加盟して、被援助国から援助国への移行を宣言したのであるが、現状では１９９５年の為替の下落により通貨危機が叫ばれ、援助する予算措置はされていない。

外務省訪問時、クリスティーナ　ルイス部長（科学技術協力局、技術協力要請部）との意見交換においても、協力するための独自な予算措置はなく、当国は日本との「第三国研修」のスキームを活用し、又UNDPからの補助金等により「協力する側」として実施していかざるを得ないのが現状であろう。

参考：CONAPO（国家人口審議会）では「国連人口基金」からの援助額は、９７年から始まる５ヶ年プログラムにおいて前回の半額になるとのこと。

添付資料

1．英文調査ミニッツ
2．西文調査ミニッツ
3．調査結果概要
4．メキシコ海運港湾関連事情
5．第三国研修に関わる経緯
6．短期専門家講義テーマ（メキシコ側提示案）
7．短期専門家講義テーマ（日本側提示案）
8．研修員 Application Form
9．研修員 Country Report Form

（なお、4．5は井澤専門家による）

THE MINUTES OF MEETING BETWEEN THE JAPANESE PRELIMINARY SURVEY TEAM AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF THE UNITED MEXICAN STATES ON THE THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAMME

1. The Japanese preliminary survey team (hereinafter referred to as "The Team"), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Yoshitaka Misawa, visited the United Mexican States from August 5th to August 20th, 1996, in order to discuss with the authorities concerned of the Government of the United Mexican States a training course for participants from Latin American countries in the field of shipping and port management, considered to be implemented in the United Mexican States under JICA's Third Country Training Programme.
2. The Team conducted surveys, held a series of meetings and exchanged opinions with the authorities concerned of the Government of the United Mexican States regarding the course.
3. Both sides came to share the view that the course will contribute to the development of shipping and port management in Latin American countries.
4. Both sides drafted the Record of Discussions attached as APPENDIX I, and agreed to recommend to their respective Governments that further studies should be made for elaborating it in order to ensure the successful implementation of the course.
5. With respect to the invited countries (See APPENDIX I), the Mexican authorities concerned requested that Cuba and Guadeloupe Lesser Antilles should be also invited to apply for the course, because of the friendly relationship with the United Mexican States. The Team promised to convey the request to the authorities concerned of the Government of Japan.
6. A list of attendants at the meetings is attached as APPENDIX II.
7. Done in duplicate in Spanish and English languages, each text being equally authentic. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

Mexico City, August 15th, 1996.

SR. YOSHITAKA MISAWA
HEAD OF THE JAPANESE
PRELIMINARY SURVEY TEAM
JICA

LIC. PEDRO PABLO ZEPEDA BERMUDEZ
COORDINATOR GENERAL
PORTS AND MERCHANT MARINE
MINISTRY OF COMMUNICATION AND
TRANSPORTS

LIC. JORGE CORRES SOTO
DIRECTOR GENERAL
FIDENA

CAP. ANGEL SUAREZ VALLEJO
DIRECTOR
MERCHANT MARINE ACADEMY OF VERACRUZ

(DRAFT) APPENDIX I

THE RECORD OF DISCUSSIONS BETWEEN THE REPRESENTATIVE OF THE JICA MEXICO OFFICE AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF THE UNITED MEXICAN STATES ON THE THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAMME

The Japanese Preliminary Survey Team, organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Yoshitaka Misawa, visited the United Mexican States from August 5th to August 20th, 1996 and had a series of discussions with the authorities concerned of the Government of the United Mexican States with respect to the framework of a training course in the field of shipping and port management under JICA's Third Country Training Programme, and to the desirable measures to be taken by both Governments to ensure the successful implementation of the course.

Based on the above discussions, the Resident Representative of the JICA Mexico Office and the authorities concerned of the Government of the United Mexican States agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the documents attached hereto.

Done in duplicate in Spanish and English languages, each text being equally authentic. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

Mexico City, , 1996.

LIC. KEN KINOSHITA
RESIDENT REPRESENTATIVE.
JICA MEXICO OFFICE

LIC. PEDRO PABLO ZEPEDA BERMUDEZ
COORDINATOR GENERAL
PORTS AND MERCHANT MARINE
MINISTRY OF COMMUNICATION AND TRANSPORTS

LIC. JORGE CORRES SOTO
DIRECTOR GENERAL
FIDENA

CAP. ANGEL SUAREZ VALLEJO
DIRECTOR
MERCHANT MARINE ACADEMY OF VERACRUZ

ATTACHED DOCUMENT

The Government of Japan and the Government of the United Mexican States will cooperate with each other in organizing a training course in the field of shipping and port management (hereinafert referred as "The Course") at Merchant Marine Academy of Veracruz under JICA's Third Country Training Programme.

The Government of the United Mexican States will conduct the Course with the support of the technical cooperation scheme of the Government of Japan. The course will be held once a year from Japanese fiscal year (hereinafter referred to as "JFY") 1996 to JFY 2000, subject to annual consultation between both Governments.

The Course will be conducted in accordance with the following:

1. TITLE

The course will be entitled:

"INTERNATIONAL TRAINING COURSE ON SHIPPING AND PORT MANAGEMENT".

2. PURPOSE

The purpose of the Course is to provide the participants from the Latin American countries with an opportunity to improve their knowledge in the field of shipping and port management.

3. OBJECTIVES

At the end of the Course, the participants are expected to have acquired the knowledge of;

3.1. Shipping management and fleet planning,

3.2. Shipowner's liability and marine insurance on the carriage of oil and other cargoes

3.3. All sorts of contracts of afreightment

3.4. Port organization and management

4. DURATION

The duration of the Course will be approximately six (6) weeks and the Course for JFY 1996 (hereinafter referred to as "the First Course") is planned to be held from 17 February to 26 March, 1997.

5. CURRICULUM

The tentative curriculum of the First Course is attached as the Annex I.

6. INVITED COUNTRIES

The Governments of the following countries will be invited to apply for the Course by nominating their applicant (s):

Argentina, Belize, Bolivia, Costa Rica, Chile, Ecuador, El Salvador, Guatemala, Haiti, Honduras, Jamaica, Nicaragua, Panama, Peru, Uruguay and Venezuela.

7. NUMBER OF PARTICIPANTS

The number of participants from the invited countries shall not exceed sixteen (16) in total. And the number of participants from the United Mexican States shall not exceed three (3).

8. QUALIFICATIONS FOR APPLICANTS

Applicants for the Course are:

8.1 to be nominated by their respective Governments in accordance with the procedures stipulated in 10.1 below.

8.2 to be university graduates or to have the equivalent academic background.

8.3 to be presently engaged in shipping and port management and related services.

8.4 to have more than two (2) years of practical experience in the shipping and port management.

8.5 to be under forty (40) years of age.

8.6 to have a sufficient command of spoken and written Spanish.

8.7 to be in good health, both physically and mentally, in order to complete the Course.

8.8 not to be serving in the military.

9. FACILITIES AND INSTITUTIONS

The Course will be conducted at the Merchant Marine Academy of Veracruz "Cap. Alt. Fernando Siliceo y Torres", Fideicomiso de Formación y Capacitación para Personal de la Marina Mercante Nacional (hereinafter referred to as "FIDENA").

10. APPLICATION PROCEDURE

10.1 A Government applying for the Course on behalf of its nominee(s) shall forward five (5) copies of the prescribed application form for each nominee to the Government of the United Mexican States through diplomatic channels, not later than ninety (90) days before the commencement of the Course.

10.2 The Government of the United Mexican States will inform the applying Governments through diplomatic channels, whether or not the applicant(s) is/are accepted to the Course not later than forty (40) days before the commencement of the Course.

11. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN AND THE GOVERNMENT OF THE UNITED MEXICAN STATES

In organizing and implementing the Course, both Governments will take the following measures in accordance with the relevant laws and regulations in force in each country. The schedule of the First Course implementation is attached as Annex II.

11.1 THE GOVERNMENT OF THE UNITED MEXICAN STATES

11.1.1 Ministry of Foreign Affairs

(1) To forward the General Information brochures (G.I.) to the Governments of invited countries through diplomatic channels.

(2) To receive application forms and forward them to the Merchant Marine Academy of Veracruz, FIDENA.

(3) To notify the results of the selection of participants to the respective Governments through diplomatic channels.

11.1.2 The Merchant Marine Academy of Veracruz, FIDENA.

(1) To formulate the curriculum based on Annex I.

(2) To draft and print G.I.

(3) To assign an adequate number of its staff as lecturers/instructors for the Course.

(4) To provide its training facilities and equipment for the Course.

(5) To select participants for the Course and notify the Ministry of Foreign Affairs of the United Mexican States and the JICA Office in Mexico (hereinafter referred to as the "JICA Office") of the results.

(6) To arrange accommodation for participants.

(7) To arrange international air tickets for the participants from invited countries and to meet and see them off at the airport.

(8) To arrange domestic study tour(s) as a part of the Course.

(9) To take budgetary measures to cover the cost of conducting the Course, excluding the expenses financed by the Government of Japan.

(10) To issue certificates to the participants who have successfully completed the Course.

(11) To submit a course report to the JICA Office within thirty (30) days after the termination of the Course.

(12) To submit a statement of expenditure with the receipts and other documentary evidence necessary to verify the expenditure stated above within thirty (30) days after the termination of the Course.

(13) To coordinate any matter related to the Course.

11.2 THE GOVERNMENT OF JAPAN

(1) To dispatch Japanese short-term expert(s), in accordance with the normal procedures of its technical cooperation scheme, who will give relevant advice to the Merchant Marine Academy of Veracruz and deliver some of the lectures. This, however, is subject to the JICA budget available for this purpose and to the number of suitable expert(s) in Japan.

The Merchant Marine Academy of Veracruz is expected to inform the JICA Office of the request for JICA short-term expert(s) not later than the annual consultation.

(2) To bear the following expenses through JICA (A tentative estimate of expenses for the First Course is attached as Annex III).

a) Expenses relevant to participants from invited countries such as international economy-class air fare, accommodation, per-diem and medical insurance premiums.

b) Expenses relevant to the Merchant Marine Academy of Veracruz such as textbooks, expendable supplies, G.I. printing, and honoraria for external lecturer(s).

12. PROCEDURE FOR REMITTANCE AND EXPENDITURES

Remittance of funds for expenses to be borne by the Government of Japan and the expenditure thereof will be arranged in accordance with the following procedures:

12.1 FIDENA will open a bank account in the United Mexican States to receive the funds remitted by JICA, and inform the JICA Office of the name of the bank, the account number and the name of the account holder.

12.2 FIDENA will submit to the JICA Office a bill of estimate for the expenses to be borne by the Government of Japan not later than sixty (60) days before the commencement of the Course.

12.3 JICA will assess the bill of estimate and remit the assessed amount of expenses to the account mentioned in 12.1 above within thirty (30) days after the receipt of the bill of estimate.

12.4 FIDENA will submit to the JICA Office a statement of expenditure within thirty (30) days after the termination of the Course.

12.5 In case there is any unspent remainder of the amount remitted by JICA, FIDENA will reimburse the unspent amount to JICA in accordance with the advice given by JICA. The funds allocated for the air fare, accommodation, per-diem and medical insurance premiums shall not be appropriated for any other purposes.

12.6 When requested by JICA, FIDENA will make available for JICA's reference all the receipts and other documentary evidence necessary to verify the expenditures stated in 12.4 above.

13. OTHERS

This attached document and the following Annexes attached hereto shall be deemed to be part of the Record of Discussions:

ANNEX I:	Tentative Curriculum of the Course (for JFY 1996)
ANNEX II:	Schedule of Course Implementation (for JFY 1996)
ANNEX III:	Tentative Estimate of Expenses to be borne by the Government of Japan (for JFY 1996)

ANNEX I

TENTATIVE CURRICULUM OF THE COURSE
(FOR JFY 1996)

1st. WEEK FEBRUARY 17 - 21, 1997.

TIME	MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY
10:00 - 11:50	OPENING CEREMONY GENERAL INFORMATION Cap. Angel Aguirre INTRODUCTION Lic. Michiro Isawa / Lic. Lourdes Zambrano	I. SHIPPING ADMINISTRATION/ORGANIZATION AND FLEET PLANNING AND ACQUISITION • IMO • Background, Framework and Main Conventions Cap. Luis I. Muriel del Castillo	I. SHIPPING ADMINISTRATION/ORGANIZATION AND FLEET PLANNING AND ACQUISITION • Duties of the main departments of a shipping company Lic. José Latournerie
11:50 - 12:00	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK
12:00 - 14:00	PRESENTATION OF COUNTRY REPORT Organization Committee	I. SHIPPING ADMINISTRATION/ORGANIZATION AND FLEET PLANNING AND ACQUISITION • Liner Program Lic. Julia García García	I. SHIPPING ADMINISTRATION/ORGANIZATION AND FLEET PLANNING AND ACQUISITION • Shipping Companies Administration. Quality Systems and ISM Ing. Max Córdova
14:00 - 16:00	FREE TIME	FREE TIME	FREE TIME
16:00 - 17:50	PRESENTATION OF COUNTRY REPORT Organization Committee	I. SHIPPING ADMINISTRATION/ORGANIZATION AND FLEET PLANNING AND ACQUISITION • Shipping Companies Organization Cap. Carlos González Carrera	I. SHIPPING ADMINISTRATION/ORGANIZATION AND FLEET PLANNING AND ACQUISITION • Framework of Fleet Planning Ing. M. N. Max Córdova
17:50 - 18:00	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK A
18:00 - 20:00	I. SHIPPING ADMINISTRATION/ORGANIZATION AND FLEET PLANNING AND ACQUISITION • General Principles of Administration Lic. Laura King	II. LINER TRAFFIC AND CONTAINERIZATION • Shipping Agencies Lic. Lourdes Zambrano	II. LINER TRAFFIC AND CONTAINERIZATION • Shipping Conferences Lic. Julia García

1st. WEEK FEBRUARY 17 - 21, 1997.

TIME	THURSDAY	FRIDAY
10:00 - 11:50	I. SHIPPING ADMINISTRATION/ORGANIZATION AND FLEET PLANNING AND ACQUISITION • New shipbuilding contract Cap. Carlos González Carrera	III. MARINE INSURANCE • Introduction • History Ing. V. Camporredondo
11:50 - 12:00	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK
12:00 - 14:00	II. LINER TRAFFIC AND CONTAINERIZATION • Administration and Organization of Shipping Companies Sr. Joel Parroquin	IV. INTERNATIONAL CONVENTIONS AND NATIONAL LEGISLATION ON THE RULES OF BILL OF LADING 1. Contract of Carriage of Goods by Sea B/L • Introduction • Importance and Characteristics of Bills of LADING Lic. José Latournerie
14:00 - 16:00	FREE TIME	FREE TIME
16:00 - 17:50	II. LINER TRAFFIC AND CONTAINERIZATION • International Multimodal Transport • Containerization Lic. Julia García García	IV. INTERNATIONAL CONVENTIONS AND NATIONAL LEGISLATION ON THE RULES OF BILL OF LADING • Contract of Carriage of Goods by Sea B/L • Historical background of the B/L Lic. José Latournerie
17:50 - 18:00	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK
18:00 - 20:00	I. SHIPPING ADMINISTRATION/ORGANIZATION AND FLEET PLANNING AND ACQUISITION • Ship finance for new shipbuilding and Amortization Planning Cap. Carlos González Carrera	III. MARINE INSURANCE • Hull and Machinery Insurance Ing. V. Camporredondo

2nd. WEEK FEBRUARY 24 - 28, 1997.

TIME	MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY
10:00 - 11:50	III. MARINE INSURANCE • Insurance of risk of war, strike, etc. Ing. V. Camporredondo	III. MARINE INSURANCE • Protection and Indemnization Insurance Ing. V. Camporredondo	III. MARINE INSURANCE • Other Insurance for shipowners Ing. V. Camporredondo
11:50 - 12:00	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK
12:00 - 14:00	IV. INTERNATIONAL CONVENTIONS AND NATIONAL LEGISLATION ON THE RULES OF BILL OF LADING • Issue and collecting of B/L • Description on the face Lic. José Latournerie	IV. INTERNATIONAL CONVENTIONS AND NATIONAL LEGISLATION ON THE RULES OF BILL OF LADING • Charter Party Contracts of Tankers (Shelltime 3) • Cargo Responsibility Division between shipowners and Charter Parties Lic. José Latournerie	IV. INTERNATIONAL CONVENTIONS AND NATIONAL LEGISLATION ON THE RULES OF BILL OF LADING • Guideline for Bill of Lading Lic. José Latournerie
14:00 - 16:00	FREE TIME	FREE TIME	FREE TIME
16:00 - 17:50	IV. INTERNATIONAL CONVENTIONS AND NATIONAL LEGISLATION ON THE RULES OF BILL OF LADING • Laws, Codes and Practices of B/L Ing. Omar Espinosa	III. MARINE INSURANCE • Collision responsibility Ing. V. Camporredondo	IV. INTERNATIONAL CONVENTIONS AND NATIONAL LEGISLATION ON THE RULES OF BILL OF LADING • Conventional and Combined B/L Ing. Omar Espinosa
17:50 - 18:00	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK A
18:00 - 20:00	IV. INTERNATIONAL CONVENTIONS AND NATIONAL LEGISLATION ON THE RULES OF BILL OF LADING • Short history of Hague Rules 1924 and the Visby Protocol, 1968. Lic. José Latournerie	IV. INTERNATIONAL CONVENTIONS AND NATIONAL LEGISLATION ON THE RULES OF BILL OF LADING • Analysis Hague-Visby Rules (1) Ing. Omar Espinosa	IV. INTERNATIONAL CONVENTIONS AND NATIONAL LEGISLATION ON THE RULES OF BILL OF LADING • Analysis Hague-Visby Rules (2) Ing. Omar Espinosa

TIME	THURSDAY	FRIDAY
10:00 - 20:00	Field trip to Coatzacoalcos, Ver.	Field trip to Coatzacoalcos, Ver.

3rd. WEEK MARCH 3 - 7, 1997.

TIME	MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY
10:00 - 11:50	III. MARINE INSURANCE • Compensation for oil pollution damage. Ing. V. Camporredondo	III. MARINE INSURANCE • Case study Ing. V. Camporredondo	V. BILL OF LADING • International Laws Hague - Visby Rules Cap. Carlos González Carrera
11:50 - 12:00	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK
12:00 - 14:00	V. BILL OF LADING • National Legislation Cap. Carlos González Carrera	III. MARINE INSURANCE • Overview Ing. V. Camporredondo	V. BILL OF LADING • International Laws Hamburg Rules Cap. Carlos González Carrera
14:00 - 16:00	FREE TIME	FREE TIME	FREE TIME
16:00 - 17:50	IV. INTERNATIONAL CONVENTIONS AND NATIONAL LEGISLATION ON THE RULES OF BILL OF LADING • Bare boat charter party Lic. José Latournerie	V. BILL OF LADING • International Laws British COGSA 1924 American COGSA 1936 Japanese COGSA 1957 Cap. Carlos González Carrera	IV. INTERNATIONAL CONVENTIONS AND NATIONAL LEGISLATION ON THE RULES OF BILL OF LADING • Obligatory clauses of a B/L Ing. Omar Espinosa
17:50 - 18:00	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK
18:00 - 20:00	IV. INTERNATIONAL CONVENTIONS AND NATIONAL LEGISLATION ON THE RULES OF BILL OF LADING • Brokerage • Time charter forms "NYPRO" y "BALTIME" Ing. Omar Espinosa	Presence of JICA at Merchant Marine Academy of Veracruz Lic. Michiro Isawa	IV. INTERNATIONAL CONVENTIONS AND NATIONAL LEGISLATION ON THE RULES OF BILL OF LADING • B/L Case study Lic. José Latournerie

3rd. WEEK MARCH 3 - 7, 1997.

TIME	THURSDAY	FRIDAY
10:00 - 11:50	VI. OIL POLLUTION PREVENTION AND CIVIL LIABILITY TO DAMAGE ARISING THEREFROM Torrey Canyon 1967 / Argo Merchant 1976 Amoco Cádiz 1978 / Exxon Valdez 1989 Ing. Rubén Santiago Carrillo	VI. OIL POLLUTION PREVENTION AND CIVIL LIABILITY TO DAMAGE ARISING THEREFROM • GMDSS Cap. Mauricio Cruz Reyes
11:50 - 12:00	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK
12:00 - 14:00	VI. OIL POLLUTION PREVENTION AND CIVIL LIABILITY TO DAMAGE ARISING THEREFROM • Private agreements related the civil responsibility for damage arising for oil pollution CLC 69, FC 71 and its protocol Cap. Mauricio Cruz Reyes	VI. OIL POLLUTION PREVENTION AND CIVIL LIABILITY TO DAMAGE ARISING THEREFROM • Steering system, fire fighting system • Inert Gas • life boat Ing. José G. Mondragón
14:00 - 16:00	FREE TIME	FREE TIME
16:00 - 17:50	VI. OIL POLLUTION PREVENTION AND CIVIL LIABILITY TO DAMAGE ARISING THEREFROM • Private agreements, (Cont'd) Cap. Mauricio Cruz Reyes	VI. OIL POLLUTION PREVENTION AND CIVIL LIABILITY TO DAMAGE ARISING THEREFROM • OPA 90 Ing. José Juan Echaide Sanchez
17:50 - 18:00	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK
18:00 - 20:00	VI. OIL POLLUTION PREVENTION AND CIVIL LIABILITY TO DAMAGE ARISING THEREFROM • MARPOL 73/78 • History/Oil Disposals Rules • Mandatory Equipment / Facilities for pollution control Ing. Rubén Santiago Carrillo	VI. OIL POLLUTION PREVENTION AND CIVIL LIABILITY TO DAMAGE ARISING THEREFROM • Steering system, fire fighting system • Inert Gas • life boat Ing. José G. Mondragón

4th. WEEK MARCH 10 - 14, 1997.

TIME	MONDAY	TUESDAY
10:00 - 11:50	VI. OIL POLLUTION PREVENTION AND CIVIL LIABILITY TO DAMAGE ARISING THEREFROM • IMO Regulations • International Cooperation • Oil Pollution Preparedness Response Cap. Luis I. Muriel del Castillo	VI. OIL POLLUTION PREVENTION AND CIVIL LIABILITY TO DAMAGE ARISING THEREFROM • Maritime Convention Lic. Patricia Gómez González
11:50 - 12:00	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK
12:00 - 14:00	VI. OIL POLLUTION PREVENTION AND CIVIL LIABILITY TO DAMAGE ARISING THEREFROM • Private agreements, TOVALOP & CRYSTAL Ing. José G. Mondragón	VI. OIL POLLUTION PREVENTION AND CIVIL LIABILITY TO DAMAGE ARISING THEREFROM • Maritime Convention Lic. Patricia Gómez González
14:00 - 16:00	FREE TIME	FREE TIME
16:00 - 17:50	VI. OIL POLLUTION PREVENTION AND CIVIL LIABILITY TO DAMAGE ARISING THEREFROM • Port State Control / Viña del Mar MOU Ing. Rubén Santiago Carrillo	VI. OIL POLLUTION PREVENTION AND CIVIL LIABILITY TO DAMAGE ARISING THEREFROM • PANEL Ing. Rubén Santiago Carrillo / Ing. José G. Mondragón
17:50 - 18:00	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK
18:00 - 20:00	VI. OIL POLLUTION PREVENTION AND CIVIL LIABILITY TO DAMAGE ARISING THEREFROM • ISM Code Ing. Luis Carbajal de Alba	VI. OIL POLLUTION PREVENTION AND CIVIL LIABILITY TO DAMAGE ARISING THEREFROM • PANEL Ing. Rubén Santiago Carrillo / Ing. José G. Mondragón

TIME	WEDNESDAY	THURSDAY	FRIDAY
10:00 - 20:00	Field trip to Tampico, Tamaulipas.	Field trip to Tampico, Tamaulipas	Field trip to Tampico, Tamaulipas.

5th. WEEK MARCH 17 - 21, 1997.

TIME	MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY
10:00 - 11:50	VII. PORT ORGANIZATION & ADMINISTRATION (1) • Introduction • Etymology • General definitions • History of ports Lic. Julia García	VII. PORT ORGANIZATION & ADMINISTRATION (1) • Models of the port organizations and their duties in the world Ing. Gabriel Cobos	VII. PORT ORGANIZATION & ADMINISTRATION (1) • Port facilities: water facilities and equipment for cargo handling, passengers, goods keeping Ing. Max Códova
11:50 - 12:00	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK
12:00 - 14:00	VIII. PORT ORGANIZATION & ADMINISTRATION (2) • General principles of port administration Ing. Serafín Vázquez Jaime	VII. PORT ORGANIZATION & ADMINISTRATION (1) • Models of the port organizations and their duties in the world(Cont'd)) Ing. Gabriel Cobos	VII. PORT ORGANIZATION & ADMINISTRATION (1) • National Port Policy API Veracruz
14:00 - 16:00	FREE TIME	FREE TIME	FREE TIME
16:00 - 17:50	VII. PORT ORGANIZATION & ADMINISTRATION (1) • Classification of Ports Ing. Gabriel Cobos	VII. PORT ORGANIZATION & ADMINISTRATION (1) • Requirements for the port organizations Lic. Julia García	VIII. PORT ORGANIZATION & ADMINISTRATION (2) • Port personnel and labor (human resources) . API Veracruz
17:50 - 18:00	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK
18:00 - 20:00	VII. PORT ORGANIZATION & ADMINISTRATION (1) • Duties of Port Authorities Ing. Gabriel Cobos	VIII. PORT ORGANIZATION & ADMINISTRATION (2) • Port area, water area, operations and service area, commercial / industrial zones Ing. Max Córdova.	VII. PORT ORGANIZATION & ADMINISTRATION (1) • Port facilities: water facilities, protection and mooring facilities, etc. Ing. Max Códova

5th. WEEK MARCH 17 - 21, 1997.

TIME	THURSDAY	FRIDAY
10:00 - 11:50	VII. PORT ORGANIZATION & ADMINISTRATION (1) • Ship services facilities, pollution control / disposal facilities Ing. Max Códova	VII. PORT ORGANIZATION & ADMINISTRATION (1) Visit to Veracruz port facilities
11:50 - 12:00	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK
12:00 - 14:00	VIII. PORT ORGANIZATION & ADMINISTRATION (2) • Specialized ship's operations at ports Cap. Alt. Javier Fuentes	VII. PORT ORGANIZATION & ADMINISTRATION (1) Visit to container terminal of Veracruz
14:00 - 16:00	FREE TIME	FREE TIME
16:00 - 17:50	VIII. PORT ORGANIZATION & ADMINISTRATION (2) • Specialized terminals and their functions Pil. Nav. Bernardo Flores	VIII. PORT ORGANIZATION & ADMINISTRATION (2) • Organizational framework of various port organizations (Cont'd) Ing. Gabriel Cobos
17:50 - 18:00	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK
18:00 - 20:00	VIII. PORT ORGANIZATION & ADMINISTRATION (2) • Container Terminal Pil. Nav. Bernardo Flores	VII. PORT ORGANIZATION & ADMINISTRATION (1) • Port operations Ing. Max Códova

6th. WEEK MARCH 24 - 26, 1997.

TIME	MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY
10:00 - 11:50	VII. PORT ORGANIZATION & ADMINISTRATION (1) • Organizational framework of various port organizations Ing. Gabriel Cobos	VII. PORT ORGANIZATION & ADMINISTRATION (1) • Port services for signals station, pilotage, towage, etc. Ing. Max Códova	Conclusions
11:50 - 12:00	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK
12:00 - 14:00	VIII. PORT ORGANIZATION & ADMINIS'RATION (2) • Special zed terminals: roll on/roll of, LASH, grain, log, etc. Pil. Nav. Bernardo Flores	VIII. PORT ORGANIZATION & ADMINISTRATION (2) • Requirements for Port Administration • Summary Ing. Serafín Vázquez Jaime	Conclusions
14:00 - 16:00	FREE TIME	FREE TIME	FREE TIME
16:00 - 17:50	PRESENTATION	PRESENTATION	Duties of the Maritime Authority Cap. Alt. Guillermo Macbeth Amor
17:50 - 18:00	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK	COFFEE BREAK
18:00 - 20:00	PRESENTATION	PRESENTATION	Closing Ceremony

LIST OF INSTRUCTORS

1. Ing. Fernando Maximiliano Cordova Escobedo
Chief, Operation Department of PEMEX

2. Cap. Carlos Demetrio González Carrera
Technical Coordinator, PEMEX

3. Cap. Alt. Javier Fuentes García
Chief, Maritime Education Department, FIDENA

4. Ing. Omar Espinosa Pérez.
Operations Manager, Specialized Terminal, Veracruz

5. Lic. Julia García García.
Technical Coordinator, The National Institute of Adult Education

6. Lic. José del Carmen Latournerie Sánchez.
Coordinator of Management Course, The National Fishery College

7. Pil. Nav. Bernardo Flores Herrera
Marine Supervisor, The Container Terminal (ICAVE)

8. Cap. Luis Ignacio Muriel del Castillo.
Director, Maritime Education Department, FIDENA

9. Cap. Mauricio Cruz Reyes.
Deputy Director, Maritime Education Department, FIDENA

10. Lic. Lourdes Zambrano Ramos
Chief, International Affairs, Maritime Education Department, FIDENA.

11. Ing. José G. Mondragón
Professor, Merchant Marine Academy of Tampico

12. Ing. Rubén Dario Santiago Carrillo
Professor, Merchant Marine Academy of Veracruz.

13. Ing. Vicente Patricio Camporredondo Palmeros
Professor, Merchant Marine Academy of Veracruz.

14. Ing. Gabriel Isaac Cobos Estrada
Professor, Merchant Marine Academy of Veracruz.

15. Cap. Alt. Gustavo Silva Cabrera
Professor, Merchant Marine Academy of Mazatlán.

16. Ing. Luis Carbajal de Alba
Lloyds Surveyor

17. Ing. Serafín Vázquez Jaime
Operation Manager, The Integral Port Administration of Veracruz (API)

18. Cap. Alt. Guillermo Macbeth Amor.
Harbour Master, Port of Veracruz.

ANNEX II

SCHEDULE OF COURSE IMPLEMENTATION (FOR JFY 1996)

MONTH	MEXICAN SIDE	JAPANESE SIDE
September, 1996	1. Signing of Record of Discussions 2. Preparation of G.I. 3. Submission of Form A-1 for Short-term Expert (s)	1. Signing of Record of Discussions
October, 1996	1. Distribution of G.I. and Application Form	
December, 1996	1. Opening of Bank Account 2. Submission of Bill of Estimate	1. Recruitment of Short-term Expert(s)
December, 1996	1. Receipt of Application Form 2. Selection and Notification of the Participants	1. Submission of Form B-1 for Short-term Expert(s)
January, 1997		1. Remittance of Expenses
February March, 1997	1. Implementation of the Course	1. Dispatch of Short-term Expert(s)
April, 1997	1. Submission of Statement of Expenditure 2. Submission of Course Report	

ANNEX III

TENTATIVE ESTIMATE OF EXPENSES TO BE BORNE
BY THE GOVERNMENT OF JAPAN FOR JFY 1996

($: US dollar)

ITEM OF EXPENSES	BREAKDOWN	AMOUNT
I. INVITATION EXPENSES		
1. Air fares		$ 12,421
2. Per-diem	$ 30 x 40 days x 16 pers.	$19,200
3. Accommodation	Mexico City:	
	$ 50 x 2 nights x 16 pers.	$ 1,600
	Veracruz City:	
	$ 40 x 38 nights x 16 pers.	$24,320
4. Medical insurance	$ 105 x 16 pers.	$ 1,680
SUB TOTAL 1		$ 59,221
II. TRAINING EXPENSES		
1. Personnel		
• Secretary	1 Secretary x $2 x 210 hrs.	$ 420
• Translator	1 Translator x 43.75 x 24 hrs. + $ 30 x 3 days of per-diem + $ 40 x 3 nights of accommodation, + transportation Mexico - Veracruz - Mexico	$ 1,411
2. Field Trips		
• Bus rental	Veracruz - Coatzacoalcos - Veracruz $ 350 x 2 days	$ 700
	Veracruz - Tampico - Veracruz $ 336.6 x 3 days	$ 1010
• Accommodation	$ 40 x 3 pers. x 5 nights	$ 600
• Per - diem	$ 30 x 3 pers. x 5 days	$ 450

ITEM OF EXPENSES	BREAKDOWN	AMOUNT
3. Teaching Materials	$ 22.926 x 10 kinds x 30 sets	$6,877.80
• Printing of technical books		
4. Expendable Supplies		$ 346
5. Meeting Expenses	$ 30 x 50 pers.	$ 1,500
• Opening Ceremony	$ 30 x 50 pers.	$ 1,500
• Closing Ceremony		
6. Printings	$ 5 x 50 brochures	$ 250
• G. I.	$ 10 x 20 certificates	$ 200
• Certificates		
7. Others	$ 8 x 120 faxes and telephone calls	$ 960
• Communications	$ 30 x 30 packages	$ 900
• International Courier services.		
SUB TOTAL 2		$ 17,124.80
GRAND TOTAL		$ 76,345.80

(FOR REFERENCE)

TENTATIVE ESTIMATE OF EXPENSES TO BE BORNE
BY THE GOVERNMENT OF THE UNITED MEXICAN STATES

($: US dollar)

ITEM OF EXPENSES	BREAKDOWN	AMOUNT
I. PERSONNEL		
1. Honoraria	$ 20 x 174 hrs.	$ 3,480
2. Visitng Proffesors		
• Accomodattion and air fares.	5 person	$972
• Course Coordinator	1 Coordinator x $ 4 x 320	$ 1,280
• Cleaning	1 person x $ 2 x 80	$160
• Caffeteria Tender	1 person x $ 2 x 80	$ 160
II. ACQUIREMENT OF EQUIPMENT		$ 6,000
1. Personal Computer		
2. Air Conditioner		
3. Others		
III. PHOTOCOPY SERVICES		$ 2,000
GRAND TOTAL		$ 14,052

APPENDIX II

LIST OF ATTENDANTS AT THE MEETINGS

JAPANESE SIDE

Sr. Yoshitaka Misawa
Head of the Japanese Preliminary Survey Team
Director of First Training Division,
Tsukuba International Center, JICA

Sr. Tokuji Ohara
Member of the Japanese Preliminary Survey Team
Superior Official,
International Shipping Division.
Maritime Transport Bureau,
Ministry of Transport

Sr. Keiichi Takemoto
Member of the Japanese Preliminary Survey Team
Official, Second Training Second Division,
Training Affairs Department, JICA

Lic. Hirofumi Matsuyama
Director, JICA Mexico

Lic. Michiro Isawa
JICA Shipping Expert and Coordinator of Shipping Management Course

MEXICAN SIDE

Lic. Jorge Corres Soto
Director General, FIDENA

Cap. Luis Ignacio Muriel del Castillo
Director, Maritime Education and Training, FIDENA

Cap. Angel Suarez Vallejo
Director, Merchant Marine Academy of Veracruz

Lic. Lourdes Zambrano Ramos
Chief, International Affairs, Maritime Education Department, FIDENA

別添 2

MINUTA DE LAS REUNIONES ENTRE LA MISION DE ESTUDIO PRELIMINAR DEL JAPON Y LAS AUTORIDADES CONCERNIENTES DEL GOBIERNO DE LOS ESTADOS UNIDOS MEXICANOS EN RELACION AL PROGRAMA DE CAPACITACION EN TERCER PAIS DEL CURSO DE CAPACITACION REGIONAL EN "ADMINISTRACION DE EMPRESAS NAVIERAS Y PORTUARIAS".

1. La Misión de Estudio Preliminar de Japón, (en adelante "La Misión"), organizada por la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (referida en adelante como "JICA") y dirigida por el Sr. Yoshitaka Misawa, visitó los Estados Unidos Mexicanos del 5 al 20 de agosto de 1996, y tuvo una serie de discusiones con las autoridades concernientes de los Estados Unidos Mexicanos, respecto a un curso de capacitación para participantes de países de América Latina en el área de la Administración de Empresas Navieras y Portuarias, que se considera será implementado en los Estados Unidos Mexicanos, bajo el Programa de Capacitación en Tercer País de JICA.
2. La Misión que condujo la investigación, sostuvo una serie de reuniones e intercambio de opiniones con las autoridades concernientes del Gobierno de los Estados Unidos Mexicanos en relación al curso.
3. Ambas partes compartieron la opinión de que el curso contribuirá al desarrollo de la administración naviera y portuaria de los países de América Latina.
4. Ambas partes elaboraron el proyecto de Registro de Acuerdos adjunto como APENDICE I, y estuvieron de acuerdo en recomendar a sus respectivos Gobiernos los estudios ulteriores que deberán hacerse para elaborarlos a fin de asegurar la exitosa implementación del curso.
5. Respecto a los países invitados (Ver APENDICE I), las autoridades mexicanas concernientes pidieron que Cuba y Guadalupe, Antillas Menores también fueran invitados a hacer su solicitud al curso, debido a las relaciones de amistad con los Estados Unidos Mexicanos. La Misión prometió elevar dicha solicitud a las autoridades concernientes del Gobierno de Japón.
6. Una lista de asistentes a las reuniones se adjunta como APENDICE II.
7. Hecho por duplicado en inglés y español, siendo ambos textos igualmente auténticos. En caso de cualquier divergencia en la interpretación, prevalecerá el texto en inglés.

Ciudad de México, a 15 de agosto de 1996.

SR. YOSHITAKA MISAWA
JEFE DE LA MISION DE
ESTUDIO PRELIMINAR
JICA

LIC. PEDRO PABLO ZEPEDA BERMUDEZ
COORDINADOR GENERAL DE
PUERTOS Y MARINA MERCANTE

LIC. JORGE TORRES SOTO
DIRECTOR GENERAL
FIDENA

CAP. ANGEL SUAREZ VALLEJO
DIRECTOR DE LA ESCUELA
NAUTICA DE VERACRUZ

(PROYECTO) APENDICE I

REGISTRO DE ACUERDOS
ENTRE
EL REPRESENTANTE RESIDENTE DE LA AGENCIA DE COOPERACION INTERNACIONAL DEL JAPON Y LAS AUTORIDADES CONCERNIENTES DEL GOBIERNO DE LOS ESTADOS UNIDOS MEXICANOS EN RELACION AL PROGRAMA DE CAPACITACION EN TERCER PAIS EN "ADMINISTRACION DE EMPRESAS NAVIERAS Y PORTUARIAS".

La Misión de Estudio Preliminar de Japón, organizada por la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (referida en adelante como "JICA") y dirigida por el Sr. Yoshitaka Misawa, visitó los Estados Unidos Mexicanos del 5 al 20 de agosto de 1996, y tuvo una serie de discusiones con las autoridades concernientes de los Estados Unidos Mexicanos, respecto a la estructura de un curso de capacitación en el área de la administración de empresas navieras y portuarias, bajo el Programa de Capacitación en Tercer País de JICA, y para las medidas deseables a tomar por ambos Gobiernos para asegurar la exitosa implementación del curso.

Con base en las siguientes discusiones, el Representante Residente de la Oficina de JICA en México y las autoridades concernientes de los Estados Unidos Mexicanos acuerdan recomendar a sus respectivos Gobiernos los asuntos a los que se refieren los documentos adjuntos.

Hecho por duplicado en inglés y español, siendo ambos textos igualmente auténticos. En caso de cualquier divergencia en la interpretación, prevalecerá el texto en inglés.

Ciudad de México, de 1996.

LIC. KEN KINOSHITA
REPRESENTANTE RESIDENTE DE LA
OFICINA DE JICA EN MEXICO

LIC. PEDRO PABLO ZEPEDA BERMUDEZ
COORDINADOR GENERAL DE PUERTOS Y
MARINA MERCANTE

LIC. JORGE CORRES SOTO
DIRECTOR GENERAL
FIDENA

CAP.ANGEL SUAREZ VALLEJO
DIRECTOR
ESCUELA NAUTICA MERCANTE DE VERACRUZ

DOCUMENTO ADJUNTO

El Gobierno del Japón y el Gobierno de los Estados Unidos Mexicanos, cooperarán mutuamente en la organización de un curso de capacitación en el área de la administración de empresas navieras y portuarias (referido en adelante como "El Curso") en la Escuela Náutica de Veracruz, bajo el Programa de Capacitación en Tercer País de JICA.

El Gobierno de los Estados Unidos Mexicanos conducirá el Curso con el apoyo del esquema de cooperación técnica del Gobierno de Japón. El curso se llevará a cabo una vez por año a partir del año fiscal japonés (referido en adelanto como "AFJ") de 1996 al AFJ 2000, sujeto a consulta anual entre ambos Gobiernos.

El Curso será conducido de acuerdo a lo siguiente:

1. TITULO

El Curso será denominado:

CURSO INTERNACIONAL DE CAPACITACION EN "ADMINISTRACION DE EMPRESAS NAVIERAS Y PORTUARIAS".

2. PROPOSITO

El propósito del Curso es proveer a los participantes de los países de América Latina de una oportunidad para elevar el nivel de sus conocimientos en el campo de la administración de empresas navieras y portuarias.

3. OBJETIVOS

Al final del Curso, se esperera que los participantes hayan adquirido conocimientos de:

3.1. Administración de empresas navieras y planeación de la flota

3.2. Responsabilidad del armador y seguro marítimo sobre el transporte de hidrocarburos y otras cargas

3.3. Todo tipo de contratos de transporte

3.4. Administración y organización portuaria

4. DURACION

La duración del Curso será de aproximadamente seis (6) semanas y el Curso para el AFJ 1996 (referido en adelante como "el Primer Curso"), se tiene programado celebrarse del 17 de febrero al 26 de marzo de 1997.

5. PROGRAMA

El Programa tentativo del Curso, se adjunta como Anexo I.

6. PAISES INVITADOS

Los Gobiernos de los siguientes países serán invitados a presentar solicitudes de sus candidatos para participar en el Curso:

Argentina, Belice, Bolivia, Costa Rica, Chile, Ecuador, El Salvador, Guatemala, Haití, Honduras, Jamaica, Nicaragua, Panamá, Perú, Uruguay y Venezuela.

7. NUMERO DE PARTICIPANTES

El número de participantes de los países invitados no deberá exceder de dieciséis (16) en total. El número de participantes de los Estados Unidos Mexicanos no deberá exceder de tres (3).

8. REQUISITOS DE INGRESO

Los candidatos para el Curso deberán:

8.1 ser postulado por el Gobierno de su país, de acuerdo con el procedimiento mencionado posteriormente en el inciso 10.1.

8.2 ser egresado con título a nivel Licenciatura, o tener la base académica equivalente.

8.3 estar actualmente involucrado en la administración de empresas navieras y portuarias y servicios relacionados.

8.4 tener más de dos (2) años de experiencia práctica en administración de empresas navieras y portuarias.

8.5 tener menos de cuarenta (40) años de edad.

8.6 tener buen dominio del idioma español, en sus habilidades auditiva, verbal y escrita.

8.7 tener buena salud física y mental para concluir el curso.

8.8 no ser miembro activo de las fuerzas armadas.

9. FACILIDADES E INSTITUCIONES

El Curso será conducido en la Escuela Náutica Mercante de Veracruz, "Cap. Alt. Fernando Siliceo y Torres", del Fideicomiso de Formación y Capacitación para Personal de la Marina Mercante Nacional (referido en adelante como "FIDENA").

10. TRAMITES DE POSTULACION

10.1 Los Gobiernos que deseen postular candidatos, deberán entregar cinco (5) ejemplares de la forma prescrita de solicitud de cada uno de los candidatos, al Gobierno de los Estados Unidos Mexicanos, por vía diplomática, a más tardar noventa (90) días antes del inicio del Curso.

10.2 El Gobierno de los Estados Unidos Mexicanos notificará a los Gobiernos que postulen candidatos, vía diplomática, si el (los) candidato(s) es (son) aceptado(s), a más tardar cuarenta (40) días antes del inicio del Curso.

11. MEDIDAS A TOMAR POR EL GOBIERNO DE JAPON Y EL GOBIERNO DE LOS ESTADOS UNIDOS MEXICANOS

Para la organización e impartición del Curso, ambos Gobiernos tomarán las siguientes medidas de conformidad con las leyes y reglamentos pertinentes y vigentes en cada país. El calendario de operación que se adjunta como Anexo II.

11.1 GOBIERNO DE LOS ESTADOS UNIDOS MEXICANOS.

11.1.1 Secretaría de Relaciones Exteriores:

(1) Distribuir folletos de la Información General (I.G.) al Gobierno de los países invitados, por la vía diplomática.

(2) Recibir las formas de solicitud, y entregarlas a la Escuela Náutica de Veracruz del FIDENA.

(3) Notificar el resultado de la selección de participantes a los Gobiernos respectivos, por vía diplomática.

11.1.2 La Escuela Náutica de Veracruz, FIDENA.

(1) Formular el programa con base en el Anexo I.

(2) Elaborar e imprimir la I.G.

(3) Asignar un número adecuado de su personal como catedrático/instructores para el Curso.

(4) Proporcionar sus instalaciones y equipo para el Curso.

(5) Seleccionar a los participantes para el Curso y notificar el resultado a la Secretaría de Relaciones Exteriores y a la oficina de JICA en México (referida en adelante como la "Oficina de JICA").

(6) Contratar el alojamiento para los participantes.

(7) Gestionar la expedición de los boletos de avión para los participantes de los países invitados, así como recibirlos y despedirlos en el aeropuerto.

(8) Organizar el viaje(s) domésticos de estudio en el Curso.

(9) Tomar las medidas presupuestales necesarias para cubrir los gastos que permitan conducir el Curso, excluyendo los gastos financiados por el Gobierno de Japón.

(10) Expedir los certificados correspondientes a los participantes que concluyan satisfactoriamente el Curso.

(11) Presentar un informe del curso, a la oficina de JICA en México, dentro de los treinta (30) días después de terminado el Curso.

(12) Presentar un estado de gastos realizados, con recibos y otros documentos que den la evidencia necesaria para verificar los gastos señalados, dentro de los treinta (30) días después de terminado el Curso.

(13) Coordinar cualquier asunto relacionado con el Curso.

11.2 GOBIERNO DE JAPON

(1) Enviar experto (s) japonés a corto plazo, de conformidad con los procedimientos regulares del esquema de cooperación técnica, quien deberá proporcionar asesorías relevantes a la Escuela Náutica de Veracruz y dar alguna conferencias. Esto sin embargo, queda sujeto al presupuesto Disponible de JICA para estos propósitos y al número de experto(s) disponibles en Japón.
Se espera que la Escuela Náutica de Veracruz informe a la Oficina de JICA las solicitudes de experto (s) a corto plazo a más tarda en la consulta anual.

(2) Cubrir los siguientes gastos a través de JICA. (Una Estimación Tentativas de Gastos, para el primer Curso se adjunta como Anexo III).

a) Gastos relevantes de los participantes de los países invitados, tales como transportación aérea internacional en clase económica, alojamiento, viáticos y primas de seguro médico.

b) Gastos relevantes de la Escuela Náutica de Veracruz, tales como libros de consulta y demás materiales didácticos y de consumo, copias, impresión de la I G y honorarios de instructor externo(s).

12. PROCEDIMIENTO DE REMESA Y DESEMBOLSO

El envío de los fondos para los gastos a ser cubiertos por el Gobierno de Japón y los gastos que se deriven se arreglarán de acuerdo a los siguientes procedimientos:

12.1 FIDENA abrirá una cuenta bancaria en los Estados Unidos Mexicanos para recibir los fondos remitidos por JICA e informará a la Oficina de JICA el nombre del banco, el número de cuenta y el nombre del apoderado.

12.2 FIDENA entregará a JICA una relación de estimación de gastos que serán cubiertos por el Gobierno de Japón, a más tardar sesenta (60) días antes del inicio del Curso.

12.3 JICA evaluará la relación de estimación y remitirá la cantidad de gastos a la cuenta mencionada en el punto 12.1 dentro de los treinta (30) días después de la recepción de la estimación de gastos.

12.4 FIDENA entregará a la Oficina de JICA un estado de gastos a más tardar treinta (30) días después del término del Curso.

12.5 En caso de que algún monto de los fondos remitidos por JICA quede sin emplearse, FIDENA reembolsará el monto no empleado a JICA, de acuerdo con las instrucciones dadas por JICA. Los fondos designados para la transportación aérea, hospedaje, viáticos y primas de seguro médico no deberá aplicarse a ningún otro propósito.

12.6 Cuando JICA lo solicite, FIDENA pondrá a su disposición las referencia de todos los recibos y otros documentos probatorios necesarios para verificar los gastos establecidos en el inciso 12.4.

13. OTROS

El presente documento y los Anexos adjuntos serán considerados como parte del Registro de Acuerdos:

ANEXO I:	Programa Tentativo para el Curso (para el AFJ 1996)
ANEXO II:	Calendario de Operación (para el AFJ 1996)
ANEXO III:	Estimación Tentativa de Gastos a cubrir por el Gobierno de Japón (para el AFJ 1996)

ANEXO I

PROGRAMA TENTATIVO DEL CURSO

(PARA EL AFJ 1996)

1ra. SEMANA FEBRERO 17 - 21, 1997.

HORA	LUNES	MARTES	MIERCOLES
10:00 - 11:50	REGISTRO INAUGURACIÓN Información General, Cap. Angel Aguirre INTRODUCCION Lic. Michiro Isawa / Lic. Lourdes Zambrano	I. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN DE EMPRESAS NAVIERAS Y PLANEACIÓN Y ADQUISICIÓN DE LA FLOTA • OMI • Antecedentes, Estructura y principales Convenios Cap. Luis I. Muriel del Castillo	I. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN DE EMPRESAS NAVIERAS Y PLANEACIÓN Y ADQUISICIÓN DE LA FLOTA • Funciones de los Principales Departamentos de una Empresa Naviera Lic. José Latournerie
11:50 - 12:00	RECESO	RECESO	RECESO
12:00 - 14:00	PRESENTACION DEL INFORME DE PAIS Comité Organizador	I. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN DE EMPRESAS NAVIERAS Y PLANEACIÓN Y ADQUISICIÓN DE LA FLOTA • Línea Regular Lic. Julia García García	I. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN DE EMPRESAS NAVIERAS Y PLANEACIÓN Y ADQUISICIÓN DE LA FLOTA • Administración de Empresas Navieras. Sistemas de Calidad e ISM Ing. Max Córdova
14:00 - 16:00	TIEMPO LIBRE	TIEMPO LIBRE	TIEMPO LIBRE
16:00 - 17:50	PRESENTACION DEL INFORME DE PAIS Comité Organizador	I. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN DE EMPRESAS NAVIERAS Y PLANEACIÓN Y ADQUISICIÓN DE LA FLOTA • Organización de Empresas Navieras Cap. Carlos González Carrera	I. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN DE EMPRESAS NAVIERAS Y PLANEACIÓN Y ADQUISICIÓN DE LA FLOTA • Esquemas de Planeación de la Flota Ing. M. N. Max Córdova
17:50 - 18:00	RECESO	RECESO	RECESO
18:00 - 20:00	I. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN DE EMPRESAS NAVIERAS Y PLANEACIÓN Y ADQUISICIÓN DE LA FLOTA • La Administración y su Aplicación en el Mundo Contemporáneo Lic. Laura King	II. TRAFICO DE LÍNEA REGULAR Y CONTENERIZACIÓN • Agencias Navieras Lic. Lourdes Zambrano	II. TRAFICO DE LÍNEA REGULAR Y CONTENERIZACIÓN • Conferencias Marítimas Lic. Julia García

1ra. SEMANA FEBRERO 17 - 21, 1997.

HORA	JUEVES	VIERNES
10:00 - 11:50	I. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN DE EMPRESAS NAVIERAS Y PLANEACIÓN Y ADQUISICIÓN DE LA FLOTA • Contratos de Nueva Construcción Cap. Carlos González Carrera	III. SEGURO MARÍTIMO • Introducción • Historia Ing. V. Camporredondo
11:50 - 12:00	RECESO	RECESO
12:00 - 14:00	II. TRÁFICO DE LÍNEA REGULAR Y CONTENERIZACIÓN • Administración y Organización de Agencias Navieras Sr. Joel Parroquin	IV. CONVENIOS INTERNACIONALES Y LEGISLACIONES NACIONALES PARA LAS REGLAS DEL CONOCIMIENTO DE EMBARQUE • Contratos de Transporte de Mercancías por Mar. C/E • Introducción • Importancia y Características del Conocimiento de Embarque Lic. José Latournerie
14:00 - 16:00	TIEMPO LIBRE	TIEMPO LIBRE
16:00 - 17:50	II. TRÁFICO DE LÍNEA REGULAR Y CONTENERIZACIÓN • Transporte Multimodal Internacional • Containerización Lic. Julia García García	IV. CONVENIOS INTERNACIONALES Y LEGISLACIONES NACIONALES PARA LAS REGLAS DEL CONOCIMIENTO DE EMBARQUE • Contratos de Transporte de Mercancías por Mar. C/E • Antecedentes Históricos del C/E Lic. José Latournerie
17:50 - 18:00	RECESO	RECESO
18:00 - 20:00	I. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN DE EMPRESAS NAVIERAS Y PLANEACIÓN Y ADQUISICIÓN DE LA FLOTA • Financiamiento de Buques de Nueva Contrucción y Plan de Amortización Cap. Carlos González Carrera	III. SEGURO MARÍTIMO • Seguro de Casco y Máquinas Ing. V. Camporredondo

2da. SEMANA FEBRERO 24 - 28, 1997.

HORA	LUNES	MARTES	MIERCOLES
10:00 - 11:50	III. SEGURO MARITIMO • Seguro de riesgos de guerra, huelga, etc. Ing. V. Camporredondo	III. SEGURO MARITIMO • Protección e Indemnización Ing. V. Camporredondo	III. SEGURO MARITIMO • Otros Seguros para Armadores Ing. V. Camporredondo
11:50 - 12:00	RECESO	RECESO	RECESO
12:00 - 14:00	IV. CONVENIOS INTERNACIONALES Y LEGISLACIONES NACIONALES PARA LAS REGLAS DEL CONOCIMIENTO DE EMBARQUE • Expedición y recolección del C/E • Descripción del formato Lic. José Latournerie	IV. CONVENIOS INTERNACIONALES Y LEGISLACIONES NACIONALES PARA LAS REGLAS DEL CONOCIMIENTO DE EMBARQUE • Contratos de Fletamento para Tanqueros (Shelltime 3) • División de la Responsabilidad de la Carga entre el Naviero y el Fletador Lic. José Latournerie	IV. CONVENIOS INTERNACIONALES Y LEGISLACIONES NACIONALES PARA LAS REGLAS DEL CONOCIMIENTO DE EMBARQUE • Guía para el Conocimiento de Embarque Lic. José Latournerie
14:00 - 16:00	TIEMPO LIBRE	TIEMPO LIBRE	TIEMPO LIBRE
16:00 - 17:50	IV. CONVENIOS INTERNACIONALES Y LEGISLACIONES NACIONALES PARA LAS REGLAS DEL CONOCIMIENTO DE EMBARQUE • Leyes, Códigos y Practicas del C/E Ing. Omar Espinosa	III. SEGURO MARITIMO • Responsabilidad por Abordaje Ing. V. Camporredondo	IV. CONVENIOS INTERNACIONALES Y LEGISLACIONES NACIONALES PARA LAS REGLAS DEL CONOCIMIENTO DE EMBARQUE • C/E Convencional y Combinado Ing. Omar Espinosa
17:50 - 18:00	RECESO	RECESO	RECESO
18:00 - 20:00	IV. CONVENIOS INTERNACIONALES Y LEGISLACIONES NACIONALES PARA LAS REGLAS DEL CONOCIMIENTO DE EMBARQUE • Breve historia de las Reglas de la Haya 1924 y el Protocolo Visby, 1968. Lic. José Latournerie	IV. CONVENIOS INTERNACIONALES Y LEGISLACIONES NACIONALES PARA LAS REGLAS DEL CONOCIMIENTO DE EMBARQUE • Análisis Haya-Visby Reglas (1) Ing. Omar Espinosa	IV. CONVENIOS INTERNACIONALES Y LEGISLACIONES NACIONALES PARA LAS REGLAS DEL CONOCIMIENTO DE EMBARQUE • Análisis de las Reglas Haya-Visby (2) Ing. Omar Espinosa

HORA	JUEVES	VIERNES
10:00 - 20:00	Viaje de Prácticas a Coatzacoalcos, Ver.	Viaje de Prácticas a Coatzacoalcos, Ver.

3ra. SEMANA MARZO 3 - 7, 1997.

HORA	LUNES	MARTES	MIERCOLES
10:00 - 11:50	III. SEGURO MARÍTIMO • Compensación de Daños causados por Hidrocarburos Ing. V. Camporredondo	III. SEGURO MARÍTIMO • Estudio de Casos Ing. V. Camporredondo	V. FLETAMENTOS • Leyes Internacionales Reglas Haya - Visby Cap. Carlos González Carrera
11:50 - 12:00	RECESO	RECESO	RECESO
12:00 - 14:00	V. FLETAMENTOS • Legislación Nacional Cap. Carlos González Carrera	III. SEGURO MARÍTIMO Resumen Ing. V. Camporredondo	V. FLETAMENTOS • Leyes Internacionales Reglas de Hamburgo Cap. Carlos González Carrera
14:00 - 16:00	TIEMPO LIBRE	TIEMPO LIBRE	TIEMPO LIBRE
16:00 - 17:50	IV. CONVENIOS INTERNACIONALES Y LEGISLACIONES NACIONALES PARA LAS REGLAS DEL CONOCIMIENTO DE EMBARQUE • Fletamento a casco desnudo Lic. José Latournerie	V. FLETAMENTOS • Leyes Internacional COGSA Británico 1924 COGSA Americano 1936 COGSA Japonés 1957 Cap. Carlos González Carrera	IV. CONVENIOS INTERNACIONALES Y LEGISLACIONES NACIONALES PARA LAS REGLAS DEL CONOCIMIENTO DE EMBARQUE • Cláusulas Obligatorias del C/E Ing. Omar Espinosa
17:50 - 18:00	RECESO	RECESO	RECESO
18:00 - 20:00	IV. CONVENIOS INTERNACIONALES Y LEGISLACIONES NACIONALES PARA LAS REGLAS DEL CONOCIMIENTO DE EMBARQUE • Corretaje • Fletamentos por Tiempo "NYPRO" y "BALTIME" Ing. Omar Espinosa	Presencia de JICA en la Escuela Náutica de Veracruz Lic. Michiro Isawa	IV. CONVENIOS INTERNACIONALES Y LEGISLACIONES NACIONALES PARA LAS REGLAS DEL CONOCIMIENTO DE EMBARQUE • Caso de Estudio sobre C/E Lic. José Latournerie

3ra. SEMANA MARZO 3 - 7, 1997.

HORA	JUEVES	VIERNES
10:00 - 11:50	VI. PREVENCIÓN DE LA CONTAMINACIÓN POR HIDROCARBUROS Y RESPONSABILIDAD CIVIL POR DAÑOS RESULTANTES Torrey Canyon 1967 / Argo Merchant 1976 Amoco Cádiz 1978 / Exxon Valdez 1989 Ing. Rubén Santiago Carrillo	VI. PREVENCIÓN DE LA CONTAMINACIÓN POR HIDROCARBUROS Y RESPONSABILIDAD CIVIL POR DAÑOS RESULTANTES • SMSSM Cap. Mauricio Cruz Reyes
11:50 - 12:00	RECESO	RECESO
12:00 - 14:00	VI. PREVENCIÓN DE LA CONTAMINACIÓN POR HIDROCARBUROS Y RESPONSABILIDAD CIVIL POR DAÑOS RESULTANTES • Acuerdos Privados relativos a la responsabilidad civil causada por hidrocarburos CLC 69, FC 71 y su Protocolo Cap. Mauricio Cruz Reyes	VI. PREVENCIÓN DE LA CONTAMINACIÓN POR HIDROCARBUROS Y RESPONSABILIDAD CIVIL POR DAÑOS RESULTANTES • Sistema de Gobierno, Protección Contra Incendio • Gas Inerte • Dispositivos Salvavidas Ing. José G. Mondragón
14:00 - 16:00	TIEMPO LIBRE	TIEMPO LIBRE
16:00 - 17:50	VI. PREVENCIÓN DE LA CONTAMINACIÓN POR HIDROCARBUROS Y RESPONSABILIDAD CIVIL POR DAÑOS RESULTANTES • Acuerdos Privados, (Cont.) Cap. Mauricio Cruz Reyes	VI. PREVENCIÓN DE LA CONTAMINACIÓN POR HIDROCARBUROS Y RESPONSABILIDAD CIVIL POR DAÑOS RESULTANTES • OPA 90 Ing. José Juan Echaide Sánchez
17:50 - 18:00	RECESO	RECESO
18:00 - 20:00	VI. PREVENCIÓN DE LA CONTAMINACIÓN POR HIDROCARBUROS Y RESPONSABILIDAD CIVIL POR DAÑOS RESULTANTES • MARPOL 73/78 • Historia /Regulaciones de Descarga de Hidrocarburos al Mar • Equipo / Instalaciones obligatorias para la Prevención de la Contaminación Ing. Rubén Santiago Carrillo	VI. PREVENCIÓN DE LA CONTAMINACIÓN POR HIDROCARBUROS Y RESPONSABILIDAD CIVIL POR DAÑOS RESULTANTES • Sistema de Gobierno, Protección Contra Incendio • Gas Inerte Dispositivos Salvavidas Ing. José G. Mondragón

4ta. SEMANA MARZO 10 - 14, 1997.

HORA	JUEVES	VIERNES
10:00 - 11:50	VI. PREVENCIÓN DE LA CONTAMINACIÓN POR HIDROCARBUROS Y RESPONSABILIDAD CIVIL POR DAÑOS RESULTANTES • Regulaciones OMI • Cooperación Internacional • Preparación y Lucha contra la Contaminación por Hidrocarburos Cap. Luis I. Muriel del Castillo	VI. PREVENCIÓN DE LA CONTAMINACIÓN POR HIDROCARBUROS Y RESPONSABILIDAD CIVIL POR DAÑOS RESULTANTES • Ley del Mar Lic. Patricia Gómez González
11:50 - 12:00	RECESO	RECESO
12:00 - 14:00	VI. PREVENCIÓN DE LA CONTAMINACIÓN POR HIDROCARBUROS Y RESPONSABILIDAD CIVIL POR DAÑOS RESULTANTES • Acuerdos Privados. TOVALOP y CRYSTAL Ing. José G. Mondragón	VI. PREVENCIÓN DE LA CONTAMINACIÓN POR HIDROCARBUROS Y RESPONSABILIDAD CIVIL POR DAÑOS RESULTANTES • Ley del Mar Lic. Patricia Gómez González
14:00 - 16:00	TIEMPO LIBRE	TIEMPO LIBRE
16:00 - 17:50	VI. PREVENCIÓN DE LA CONTAMINACIÓN POR HIDROCARBUROS Y RESPONSABILIDAD CIVIL POR DAÑOS RESULTANTES • Control por el Estado Rector del Puerto / MDE Viña del Mar Ing. Rubén Santiago Carrillo	VI. PREVENCIÓN DE LA CONTAMINACIÓN POR HIDROCARBUROS Y RESPONSABILIDAD CIVIL POR DAÑOS RESULTANTES • PANEL Ing. Rubén Santiago Carrillo / Ing. José G. Mondragón
17:50 - 18:00	RECESO	RECESO
18:00 - 20:00	VI. PREVENCIÓN DE LA CONTAMINACIÓN POR HIDROCARBUROS Y RESPONSABILIDAD CIVIL POR DAÑOS RESULTANTES • Código ISM Ing. Luis Carbajal de Alba	VI. PREVENCIÓN DE LA CONTAMINACIÓN POR HIDROCARBUROS Y RESPONSABILIDAD CIVIL POR DAÑOS RESULTANTES • PANEL Ing. Rubén Santiago Carrillo / Ing. José G. Mondragón

HORA	LUNES	MARTES	MIERCOLES
10:00 - 20:00	Viaje de Prácticas a Tampico, Tamaulipas.	Viaje de Prácticas a Tampico, Tamaulipas	Viaje de Prácticas a Tampico, Tamaulipas.

5ta. SEMANA MARZO 17 - 21, 1997.

HORA	LUNES	MARTES	MIERCOLES
10:00 - 11:50	VII. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN PORTUARIA (I) • Introducción • Etimología • Definiciones Generales • Historia de los puertos Lic. Julia García	VII. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN PORTUARIA (I) • Modelos Organizacionales de Administración Portuaria en el Mundo Ing. Gabriel Cobos	VII. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN PORTUARIA (I) • Instalaciones portuarias: instalaciones marítimas y equipo para el manejo de carga, pasajeros y cuidado de las mercancías Ing. Max Códova
11:50 - 12:00	RECESO	RECESO	RECESO
12:00 - 14:00	VIII. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN PORTUARIA (2) • Principios Generales de la administración portuaria Ing. Serafín Vázquez Jaime	VII. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN PORTUARIA (I) • Modelos Organizacionales de Administración Portuaria en el Mundo (Cont.) Ing. Gabriel Cobos	VII. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN PORTUARIA (I) • Política Portuaria Nacional API Veracruz
14:00 - 16:00	TIEMPO LIBRE	TIEMPO LIBRE	TIEMPO LIBRE
16:00 - 17:50	VII. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN PORTUARIA (I) • Clasificación de los Puertos Ing. Gabriel Cobos	VII. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN PORTUARIA (I) • Requerimientos para las organizaciones portuarias Lic. Julia García	VIII. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN PORTUARIA (2) • Personal portuaria y mano de obra (recursos humanos) API Veracruz
17:50 - 18:00	RECESO	RECESO	RECESO
18:00 - 20:00	VII. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN PORTUARIA (I) • Funciones de la Autoridad Portuaria Ing. Gabriel Cobos	VIII. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN PORTUARIA (2) • Area portuaria, área marítima, área de operaciones y servicios, zonas comercial / industrial Ing. Max Córdova.	VII. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN PORTUARIA (I) • Instalaciones portuarias: instalaciones marítimas, instalaciones de protección y amarre, etc. Ing. Max Códova

5ta. SEMANA MARZO 17 - 21, 1997.

HORA	JUEVES	VIERNES
10:00 - 11:50	VII. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN PORTUARIA (I) • Instalaciones para la atención de buques, control de la contaminación / instalaciones de recepción Ing. Max Códova	VII. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN PORTUARIA (I) Visita a las instalaciones del Puerto de Veracruz
11:50 - 12:00	RECESO	RECESO
12:00 - 14:00	VIII. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN PORTUARIA (2) • Operacione portuarias para buques especializados Cap. Alt. Javier Fuentes	VII. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN PORTUARIA (I) Visita a la terminal de contenedores de Veracruz
14:00 - 16:00	TIEMPO LIBRE	TIEMPO LIBRE
16:00 - 17:50	VIII. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN PORTUARIA (2) • Terminales Especializadas y sus funciones Pil. Nav. Bernardo Flores	VIII. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN PORTUARIA (2) • Estructura organizacional de varias organizaciones portuarias Ing. Gabriel Cobos
17:50 - 18:00	RECESO	RECESO
18:00 - 20:00	VIII. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN PORTUARIA (2) • Terminal de Contenedores Pil. Nav. Bernardo Flores	VII. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN PORTUARIA (I) • Operaciones portuarias Ing. Max Códova

6ta. SEMANA MARZO 24 - 26, 1997.

HORA	LUNES	MARTES	MIERCOLES
10:00 - 11:50	VII. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN PORTUARIA (I) • Estructura organizational de varias organizaciones portuarias Ing. Gabriel Cobos	VII. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN PORTUARIA (I) • Servicios portuarios de balizamiento, pilotaje, remolcador, etc. Ing. Max Códova	Conclusiones
11:50 - 12:00	RECESO	RECESO	RECESO
12:00 - 14:00	VIII. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN PORTUARIA (2) • Terminales Especializadas: roll on/roll de, LASH, graneles, etc. Pil. Nav. Bernardo Flores	VIII. ORGANIZACIÓN Y ADMINISTRACIÓN PORTUARIA (2) • Requerimientos para las Administraciones Portuarias • Resumen Ing. Serafín Vázquez Jaime	Conclusiones
14:00 - 16:00	TIEMPO LIBRE	TIEMPO LIBRE	TIEMPO LIBRE
16:00 - 17:50	PRESENTACION	PRESENTACION	Funciones de la Autoridad Marítima Cap. Alt. Guillermo Macbeth Amor
17:50 - 18:00	RECESO	RECESO	RECESO
18:00 - 20:00	PRESENTACION	PRESENTACION	Ceremonia de Clausura

LISTA DE INSTRUCTORES

1. Ing. Fernando Maximiliano Cordova Escobedo
Jefe del Departamento de Operación de PEMEX

2. Cap. Carlos Demetrio González Carrera
Coordinador Técnico, PEMEX

3. Cap. Alt. Javier Fuentes García
Jefe del Departamento de Formación, FIDENA

4. Ing. Omar Espinosa Pérez.
Gerente de Operaciones, Terminal Especializada, Veracruz

5. Lic. Julia García García.
Coordinador Técnico, Instituto Nacional de Educación para los Adultos

6. Lic. José del Carmen Latournerie Sánchez.
Coordinador del Curso de Administración, Instituto Tecnológico del Mar

7. Pil. Nav. Bernardo Flores Herrera
Supervisor, Terminal de Contenedores (ICAVE)

8. Cap. Luis Ignacio Muriel del Castillo.
Director de Educación Náutica, FIDENA

9. Cap. Mauricio Cruz Reyes.
Subdirector de Planeación Educativa, FIDENA

10. Lic. Lourdes Zambrano Ramos
Jefe del Departamento de Relaciones Internacionales, FIDENA.

11. Ing. José G. Mondragón
Profesor, Escuela Náutica de Tampico

12. Ing. Rubén Darío Santiago Carrillo
Profesor, Escuela Náutica de Veracruz.

13. Ing. Vicente Patricio Camporredondo Palmeros
Profesor, Escuela Náutica de Veracruz.

14. Ing. Gabriel Isaac Cobos Estrada
Profesor, Escuela Náutica de Veracruz.

15. Cap. Alt. Gustavo Silva Cabrera
Profesor, Escuela Náutica de Mazatlán.

16. Ing. Luis Carbajal de Alba
Inspector de Lloyds

17. Ing. Serafín Vázquez Jaime
Gerente de Operaciones, Administración Portuaria Integral de Veracruz (API)

18. Cap. Alt. Guillermo Macbeth Amor.
Capitán del Puerto de Veracruz.

ANEXO II

CALENDARIO DE OPERACION (PARA EL AFJ 1996)

MES	PARTE MEXICANA	PARTE JAPONESA
Septiembre, 1996	1. Firma del Registro de Acuerdos 2. Preparación de la I.G. 3. Presentación de la Forma A-1 para Experto(s) a corto plazo	1. Firma del Registro de Acuerdos
Octubre, 1996	1. Distribución de la I.G. y Formatos de Solicitud	
Diciembre, 1996	1. Apertura de Cuenta Bancaria 2. Presentación de Estimación de Gastos	1. Reclutamiento de Experto(s) a corto plazo
Diciembre, 1996	1. Recepción de Formatos de Solicitud 2. Selección y Notificación de Participantes	1. Presentación de la Forma B-1 para Experto(s) a corto plazo
Enero, 1997		1. Envío de Fondos
Febrero Marzo, 1997	1. Implementación del Curso	1. Despacho de Experto(s) a corto plazo
Abril, 1997	1. Presentación de Estado de Gastos 2. Presentación de Informe del Curso	

ANEXO III

ESTIMACION TENTATIVA DE GASTOS A CUBRIR
POR EL GOBIERNO DE JAPON PARA EL AFJ 1996

($: Dólares de EUA)

CONCEPTOS DE GASTOS	DESGLOSE	CANTIDAD
I. GASTOS POR INVITACION		
1. Pasajes Aéreos		$ 12,421
2. Viáticos	$ 30 x 40 días x 16 pers.	$19,200
3. Hospedaje	Ciudad de México:	
	$ 50 x 2 noches x 16 pers.	$ 1,600
	Ciudad de Veracruz:	
	$ 40 x 38 noches x 16 pers.	$24,320
4. Seguro Médico	$ 105 x 16 pers.	$ 1,680
SUBTOTAL I		$ 59,221
II. GASTOS DE CAPACITACION		
1. Personal		
• Secretaria	1 Secretaria x $2 x 210 hrs.	$ 420
• Traductor	1 Traductor x 43.75 x 24 hrs. + $ 30 x 3 días de viáticos + $ 40 x 3 noches de hospedaje, + transportación México - Veracruz - México	$ 1,411
2. Viajes de Prácticas		
• Renta de Autobús	Veracruz - Coatzacoalcos - Veracruz $ 350 x 2 días	$ 700
	Veracruz - Tampico - Veracruz $ 336.6 x 3 días	$ 1010
• Hospedaje	$ 40 x 3 pers. x 5 noches	$ 600
• Viáticos	$ 30 x 3 pers. x 5 día	$ 450

CONCEPTOS DE GASTOS	DESGLOSE	CANTIDAD
3. Materiales Didácticos		
• Reproducción de libros técnicos	$ 22.926 x 10 tipos x 30 juegos	$6,877.80
4. Materiales de Consumo		$ 346
5. Gastos de Reuniones		
• Ceremonia de Inauguración	$ 30 x 50 pers.	$ 1,500
• Ceremonia de Clausura	$ 30 x 50 pers.	$ 1,500
6. Impresos		
• I.G.	$ 5 x 50 folletos	$ 250
• Certificados	$ 10 x 20 certificados	$ 200
7. Otros		
• Comunicaciones	$ 8 x 120 faxes y llamadas telefónicas	$ 960
• Servicio de Mensajería Internacional.	$ 30 x 30 paquetes	$ 900
SUBTOTAL 2		$ 17,124.80
GRAN TOTAL		$ 76,345.80

(PARA REFERENCIA)

ESTIMACION TENTATIVA DE GASTOS A CUBRIR
POR EL GOBIERNO DE LOS *ESTADOS UNIDOS MEXICANOS*

($: Dólares de EUA)

CONCEPTOS DE GASTOS	DESGLOSE	CANTIDAD
I. PERSONAL		
1. Honorarios	$ 20 x 174 hrs.	$ 3,480
2. Profesores visitantes		
• Viáticos y pasajes.	5 personas	$972
• Coordinador del Curso	1 Coordinador x $ 4 x 320	$ 1,280
• Limpieza	1 personas x $ 2 x 80	$160
• Servicio de Cafetería	1 personas x $ 2 x 80	$ 160
II. ADQUISICION DE EQUIPO		$ 6,000
1. Computadora		
2. Aire Acondicionado		
3. Otros		
III. SERVICIO DE FOTOCOPIADO		$ 2,000
GRAN TOTAL		$ 14,052

APENDICE II

LISTA DE ASISTENTES A LAS REUNIONES

POR LA PARTE JAPONESA

Sr. Yoshitaka Misawa
Jefe de la Misión de Estudio Preliminar
Director de la Primera División de Capacitación,
Centro Internacional del Tsukuba, JICA

Sr. Tokuji Ohara
Miembro de la Misión de Estudio Preliminar
Oficial Superior,
División de Transporte Marítimo Internacional,
Dirección General de Transporte Marítimo,
Ministerio de Transporte

Sr. Keiichi Takemoto
Miembro de la Misión de Estudio Preliminar
Oficial, Segunda División de Capacitación,
Departamento de Capacitación, JICA

Lic. Hirofumi Matsuyama
Director de JICA en México.

Lic. Michiro Isawa
Experto en Transporte Marítimo de JICA y Coordinador del Curso Administración de Empresas Navieras

POR LA PARTE MEXICANA

Lic. Jorge Corres Soto
Director General del FIDENA

Cap. Luis Ignacio Muriel del Castillo
Director de Educación Náutica, FIDENA

Cap. Angel Suárez Vallejo
Director de la Escuela Náutica de Veracruz.

Lic. Lourdes Zambrano Ramos
Jefe del Depto. de Relaciones Internacionales, FIDENA.

別添3

メキシコ第三国集団研修　「海運経営・港湾管理講座」　事前調査　結果概要　　8、9、18

項目	要請内容（要請書、要望調査表等の要約）	我が方の対処方針	今回協議結果
1. コース名称	（和）海運経営講座 （英）Regional Upgrading Course on Shipping and Port Management	研修内容から判断して、次の通りとするのが適当。 （和）海運経営・港湾管理 （英）International Training Course on Shipping and Port Management	（和）海運経営・港湾管理講座 （英）International Training Course on Shipping and Port Management
2. 目的	海運経営にかかる技術移転は１９８６年以降長期専門家派遣により行われており、既に専門家による９冊のテキスト作成等の成果があり、国際研修への周辺国からの講義参加要請もある。	・つぎのとおり、R／D上の通常の表現に準ずることとする。 「長期専門家派遣により、メキシコに対し行われた海運経営港湾管理にかかる技術移転の結果を中南米諸国に普及させる」	対処方針に同じ
3. 到達目標	以下の点についての知識を、研修員に深めさせる。 ・海運経営全般及び船隊整備 ・海上保険及び海上運送人貨物賠償責任についての国際条約・国内法 ・定期船運営とコンテナリゼーション、及び傭船契約 ・海洋汚染防止・油濁民事責任に関する国際条約及び国内法 ・港湾組織及び管理	到達目標を次の３点にしぼる。 ・海運経営及び船隊整備についての知識を修得する。 ・油等貨物運送における船主責任及び海上保険についての知識を修得する ・港湾組織及び管理についての知識を修得する。	・海運経営及び船隊整備についての知識を修得する ・油等貨物運送における船主責任及び海上保険についての知識を修得する ・あらゆる種類の海上運送契約についての知識を修得する ・港湾組織及び管理についての知識を修得する
4. 研修期間	1997年2月24日から1997年4月2日（38日） 協力期間：１９９６年度から２０００年度（５年間）	・メキシコ側案で大きな問題はないが、日本の予算年度から考えて可能な限り３月中にコースを修了させる方向で調整する。 ・次回以降の実施時期は第一回目の時期にはとらわれず、研修実施に適当な時期にする。	・第一回目：１９９７年２月１７日から３月２６日（３８日間、２月のカーニバル及び３月の国民的休暇の時期であるセマナサンタを考慮した） ・第二回目以降の実施時期については、とりあえずペンディングとする。 ・協力期間：１９９６年度から２０００年度
5. カリキュラム	・SHIPPING ADMINISTRATION /ORGANIZATION AND FLEET PLANNING AND ACQUISITION ・LINER TRAFFIC AND CONTAINERIZATION ・MARITIME INSURANCE ・INTERNATIONAL CONVENTIONS AND NATIONAL LEGISLATION ON THE RULES OF BILL OF LADING ・CHARTER ・OIL POLLUTION PREVENTION AND CIVIL LIABILITY TO DAMAGE ARISING THEREFROM ・PORT ORGANIZATION AND ADMINISTRATION	・研修目的・目標・対象者等から判断して、内容的に全体としてバランスがとれ、研修員にとって、無理なく効果のあがるカリキュラムとするよう十分配慮する。	・カリキュラムの内容については、基本的にメキシコ側要請のとおりとする。

項目	要請内容	我が方の対処方針	今回協議結果
6. 割当国	中米・カリブ11ヵ国（ベリーズ、コスタリカ、キューバ、エルサルヴァドル、グァテマラ、ホンデュラス、ジャマイカ、ニカラグァ、ハイティ、パナマ、グァダルーペ） 南米7ヵ国（アルゼンティン、ボリヴィア、チリ、ペルー、エクアドル、ウルグァイ、ヴェネズエラ）	・キューバは、調査団が署名するミニッツ添付R/D案の割当国に入れない。 ただし、メキシコ側からキューバ割当への強い要請が出た場合は、調査団が持ち返り、外務本省の判断を仰ぐ。	・キューバ及びグァダルーペは、調査団が署名するミニッツ添付R／D案の割当国に入れない。 ただし、メキシコ側からこの2地域に対する割当への強い要望が出たため、調査団が持ち帰り、外務本省の判断を仰ぐこととした。
7. 定員	周辺国：18名、 実施国からの参加者については確認中。	・キューバを割当国から除くので、各国1名ずつとして周辺国からは17名とする。	割当国からさらに、グァダルーペを除いたため、周辺国から1名ずつ、実施国から3名で、計19名になった。 ただし、外務本省での検討の結果、キューバあるいはグァダルーペへの割当が可能になった場合は、それに応じて定員も増やすこととする。
8. 資格要件	（1）海運港湾分野における職歴が2年以上であること （2）40歳以下 （3）大学あるいは専門学校卒業程度 （4）決められた手続きに従い、割当国の外務省を通じて推薦された者 （5）スペイン語が、会話、筆記ともに堪能な者	・次の資格要件を追加する。 「現在、海運港湾関連分野の業務に従事していること」 「心身ともに健康な者」	次の8項目とする。 ・海運港湾分野における職歴が2年以上であること ・40歳以下 ・大学卒業程度 ・決められた手続きに従い、割当国の外務省を通じて推薦された者 ・スペイン語が、会話、筆記ともに堪能な者 ・現在、海運港湾関連分野の業務に従事している者 ・心身ともに健康な者 ・軍人でない者
9. 研修機関	（和）ベラクルス商船大学 （英）Merchant Marine Academy of Veracruz	特に問題なし。	要請のとおりとする。

項目	要請内容	我が方の対処方針	今回協議結果
10. C／P研修	要請は特になし。	・相手側からの強い希望があれば、その理由、分野等を明確にし、今後の検討課題とする。また、あわせて第三国研修の場合、C／P研修の枠が大変厳しいこと（5年に1回程度）を説明し、理解を得る。	協議において特に要請はなかった。
11. 日本人専門家派遣	1）人数：　1名 2）期間：　短期 3）分野：　海運経営管理	・第三国研修における専門家派遣の考え方（研修実施主体はメキシコ側にあり、止むを得ない場合のみ専門家を派遣する）を十分説明する。 ・先方の要請内容をより明確にし、最大で1名、1ヵ月以内の派遣とする。	・日本側より、1名、1週間程度の派遣を検討。 ・なお、第一回目の専門家の指導分野については、調査団帰国後、日本側で対応可能な分野を十分検討することとする。
12. 日本側負担経費内訳	受入諸費　59、264　(US$) 航空費　13、904 日当　14、850 宿泊費　28、620 保険料　1、890 研修諸費　20、736　(US$) 現地傭人費　1、420 研修旅行　4、560 資材費　10、000 (コンピューター　2、000) (プロジェクター　5、000) (空調機　3、000) 会議費（開閉講式）2、100 教材費　450 (GI作成費　250) (修了証書作成費　200) 消耗品購入費　346 通信費　1、860 合計　80、000	・資材費に含まれているコンピューター等の機材購入は、第三国集団研修における経費分担の考え方からして困難であることを説明する。	・定員及び日当に若干の変更があったため、受入諸費及び研修諸費の研修旅行費に修正があった。 ・資材費については、日本側の対処方針に従い、日本側は負担しないこととし、代わりにメキシコ側負担の予定だったテキスト作成費を負担することとした。

別添4

海運事情

所管官庁　　　　　通信運輸省　海運局

準拠法・国際条約　　航海法（LA LEY DE NAVEGACION）

航海法は1963年の航海通商法の改正法で1994年１月に公布された。当国は90年代にはいってからHAGUE RULES 、油濁防止・油濁損害民事責任などに関する国際条約に加盟しており新法はこれらの内容を国内法化している。本法は海運及び船舶・船員の総合法規で７部（TITULO）34章（CAPITULO）140 条（ARTICULO）よりなる。内容は下記の通り。。

総則（適用範囲、所轄官庁）海運（船籍、船舶登記原簿、海運業、海運代理業、船舶職員、船員法、船員教育）航海（航海・入出港法規、水先法、曳船作業、航行補助施設、船舶検査、海洋汚染防止）船舶所有権（船舶取得法規、船舶共有、係船・委付・解撤、海上先取特権、船舶抵当権）海上運送契約（用船契約、海上物品運送海上旅客運送、用船契約）海上危険と海難（衝突、海損、救助、沈没と除去、海上漂流物、民事責任、海難審判）罰則

国際条約につては現在はほぼ全ての条約を批准している。例示すれば下記の通り。

船荷証券統一条約	(HAGUE RULES 及びVISBY, SDR PROTOCOLS, LLMC76)
船舶安全関係	(SOLAS74/78, LL68, INSALMAT76, SAR79, COLREG72)
船員関係	(STCW78/96)
油濁関係	(MARPOL73/78, CLC69/92, FC71/92, OPRRC90)

海運政策

途上国海運が通常採っている自国船隊育成策については全く不在である。国内に造船能力が無いため政治課題になりにくい面もある。直接助成についてはかっては貨物留保と燃料費価格補助があったがOECD加盟を機に廃止されている。間接助成については先進国でも採られている特恵的な制度金融や税法上の優遇措置は一切ない。従って船社は企業防衛上便宜置籍に走り国内空洞化が進み船員の雇用を狭めて入る。市中貸出金利は当国の旺盛な資金需要を反映し割高であり、利益課税は一率35% で特別償却も認められず、かつ最も怨嗟の対象となっているのは船舶資産税（VALUEの2%）でメキシコ籍船の国際競争力を弱めている。従って船腹代替が進まず老朽船が多い。

船腹規模

1985年の統計では当国旗国船は1,314 千総屯と発表されていたが、1994年度にはこれが僅か819 千総屯に減少している。FLAGGING-OUTの影響である。便宜置籍船の中にはわが国の" 仕組船" 同様実質支配船腹もある模様であるが、実態は不明である。

主要海運会社

－PETROEOS MEXICANOS (PEMEX)－メキシコ石油公社当国最大の船主である。22隻687千DWT の原油タンカー、ケミカルタンカーと8 隻225 千DWT のGAS CARRIER を保有している。用船比率が高いので運航屯数はこの数字を遥かに上回る。同社は当国随一の巨大企業で油田探査、発掘、精製、輸出、販売、海運、陸運、貯蔵及び石油化学とすべてを独占している。海上輸送本部は当地VERACRUZにある。

－TRANSPORTACION MARITIMA MEXICANA S.A.(T.M.M.) 当国唯一の総合船社である。定期船、コンテナ船、バルカー、自動車専用船、タンカーの運航をしている。TMM グループ保有船腹は1994年度では僅かに6 隻201 千DWT と発表されている。新鋭コンテナ船を除いては殆ど便宜置籍船である。定期航路は北米東岸・欧州及び北米西岸・日本極東のフルコンサービスと中米カリブ、南米東岸、中南米西岸の在来セミコンサービスの５航路をもつ。

－TECOMAR S.A.元来ドイツ系のコンテナオペレーターで欧州コンテナサービスでTMM と競合していたが、３年前にTMM に吸収された。

－COMPANIA NAVIERA MINERAL DE GOLFO S.A. (NAVIMIN) バルク・トレードの中堅オペレーターである。保有船腹は僅か2 隻44千DWT となっており、運航船腹の殆どが用船である。。

－以上の他、約12の群小船主があり、46隻242 千DWT を保有している。

トランス・ボーダー・トレード

世界海運がコンテナ時代に入ってから30年以上を経たが、当国の対応は非常に立ち遅れている。一応太平洋岸のMANZANILLO.LAZARO CARDENASとガルフ側のALTAMIRA、VERACRUZの４港が主要コンテナ基地として位置ずけられているが、規模・内容とも国際レベルに程遠くナショナルラインのTMM を除いては、マザーボートの誘致ができない。日本を含む極東線ではコンテナをLOS ANGELES やLONG BEECHに陸揚げし、DOUBLE STACK TRAINでメキシコ内陸の主要工業都市まで陸送している。これをTRANS BORDER TRADEと呼んでいるがいわばメキシコは北米西岸のフィーダー地域となっている。ガルフ側ではミシシッピーのPUSHER BARGEが延航する計画などが取沙汰されている。当国の海上輸送には未だ問題が多い。

港 湾 事 情

主要港湾　1993年の通信運輸省の公式発表によるとメキシコにおける港湾は73港（太平洋岸39, ガルフ・カリブ海34）で港湾法の区分によると、ポート45, ターミナル9 及びマリーナ19となっている。このうち主要港湾といわれるものは北から南へROSARITO, ENSENADA, GUERRERO NEGRO, LA PAZ(BAJA CARFORNIA 半島) GUAYMAS, TOPOLOBAMPO, MAZATLAN, MANZANILLO, LAZARO CARDENAS, ACAPULCO, SALINA CRUZ(太平洋岸) ALTAMIRA TAMPICO, CD. DE MADERO, TUXPAN, VERACRUZ, COATZACOALCOS, DOS BOCAS, CD. DE CARMEN, LERMA, PROGRESO(メキシコ湾) の合計21港である。

所轄官庁　　通信運輸省・港湾局

準拠法　　港湾法（LA LEY PUERTO）- 1993年7 月20日公布

港湾組織の沿革　　沿革的に当国の港湾は連邦機関である国家港湾調整委員会と各港に設立された港湾運営開発監督局によって管理されていた。1989年メキシコ港湾庁（PUERTOS MEXICANOS)が通信運輸省の一部局として設置されて以来、その一元的管理におかれる様になった。但し港湾庁は港のオペレーションには携わらず、CONCESSIONと呼ばれる委任方式でメキシコ石油公社やグレーン、ミネラルなどバルク貨物のターミナル経営企業などのユーザーに使用権を与え、一方公共埠頭の運営は殆ど港湾労働組合の経営に委託していた。これは港湾機器投資の資金不足を民間活力で補なっていたとも言える。VERACURZ港の場合はヴェラクルス港湾サービス会社（LA SOCIEDAD DE SERVICIO PORTUARIO DE VERACRUZ, 1973年設立）が公共埠頭の運営に当たっていた。同社は全く不思議な存在で株主には港湾労働組合のメンバーシップをもつ医師、弁護士などの富裕階級や歴代大統領の家族などが名を連ねていた。当国においては、港湾労働組合員の資格は一種の世襲財産であり、株主は名義貸しで報酬を得ると共に会社の利益配分に与かっていた。港湾労働には例え先進国でも非近代的な残滓が残っているものであるが、この会社は極言すれば全く搾取機関で既得権の上にあぐらをかいて運営組織の改善や機器の近代化を行わず低賃金で労働者を縛り、一方港湾タリフは当国一割高であった。労働者は勤労意欲に乏しく港頭には滞貨が溢れて慢性的な船混を呈していた。定期船会社の中にはTUXPANの様な隣接港に逃避するほどまで事態は悪化した。

港湾改革の経緯　1988年に政権についたSALINAS 大統領は就任早々から経済・社会の改革政策を進め、また親米路線をとり政治生命を賭してNAFTA の成立に全力を傾倒した。多分に米国からの圧力もあったと思われるが、歴代大統領が出来なかったVERACRUZ港の改革に乗り出した。まず期限を指定して同港の近代化と料金の適正化など自主改革

案の提出を求めた。これに組合側が抵抗を示すと、1991年5 月31日抜打的に港を接収した。港は直ちに連邦接収委員会の管理に移され、新設された三つの作業会社に使用権を与え競争原理を導入して生産性の向上と料金の引き下げを図った結果、港は短期間で正常化した。組合は大統領の措置を憲法違反とし提訴の姿勢をみせ、また国際労連へ援助を求めたが結果は大統領の一方的勝利に終わった。港湾改革はVERACRUZの接収に端を発し1993年7 月の新港湾法の公布により幕を閉じた。メキシコ港湾庁は制度的には廃止されその短い歴史を閉じた。90年代の港湾改革は奇しくもラ米の一般風潮でもある。元来ラ米の港湾組織は中央集権的色彩が強く港湾公社が全国の港湾を管理運営していたがいずれも機械化・近代化などが労働攻勢のために進まず、財政破綻を来して80年代末から分権化と民営化を柱とした港湾改革を行なっている。

新港湾組織

新法の目指す所は分権化と民営化であるが主要点は下記の通り。

－港湾は国家の不可分な公共地（DOMINIO PUBLICO)であるが、最長50年の租借権を外資を含む民間法人および自然人に与える。これには自ら土地・施設のリースを受けてターミナル経営をする方式と、港湾管理者である新設のポートオーソリテー（ADMINISTRACION PORTUARIA INTEGRAL-API)の株式取得をする方式とがある。外資の場合API への参画は49％を限度とする。租借期限が終了し更改されない場合は、租借権者の投資のうち土地に密着不可分な物は国有財産になる。

－API は自治と財政的独立をもつ港湾管理者で港の計画、建設、維持管理に当たる。また使用者に土地施設の一部を貸与しその使用状況をモニターリングする。自ら港湾事業を行うか、下請企業に運営させる。また通信運輸省の定めるMIN/MAX の範囲で港湾料率を設定することができる。役員会は連邦・州政府、地方自治体、港湾事業者、ユーザーなどの代表者で構成される。

－国家港湾計画は通信運輸省の所管であり国家総合経済計画の一環をして策定される。1994年9 月CHIAPAS 州のPUERTO MADERO 港に設立されて以来各港にAPI が順次設立されている。当初は既存の港湾施設を現物出資し連邦政府が100%の株式をもつ形で出発するが、売却、増資により地方政府、民間、外資に株式を開放する。API の設立が独立採算上不可能な港は通信運輸省が引続き管理する。

船 員 教 育 事 情

沿革　メキシコの船員教育は1917年に公布された現行憲法に旗国船乗組員のMEXICONIZATIONの一条が加わった事により、CAPT.FERNANDO SILICEO Y TORRE が1919年1 月5 日にVERACRUZ商船大学の前身を設立した事に始まる。しかしながら、当校はかつて文部省の所管となった事はなく、経営は不安定で財政破綻により一時閉校の憂き目に遭ったり、VERACRUZ州立大学の一学部となったりして苦難の歴史を辿ったが、1972年より船員教育基金の経営に移され現在に至っている。一方MAZATLANにはVERACRUZより早く退役船長などによる寺子屋式の航海学校があっったが、VERACRUZについで国の教育機関に認められた。TAMPICO 商船大学は約20年前、極く最近であるので同校の施設・設備は最も近代的である。

準拠法及び国際条約　前述の1994年1 月公布の航海法第2 部第6 章第28-29 条に船員教育の規定がある。これによると商船士官の学生教育と卒業生再教育は通信運輸省の所管であり、文部省の基準による学部であることを妨げないが、教授陣は同省に登録され、同省及び関係国際条約の定める資格を充足する事とする。教育訓練の内容及び海技免状制度は"船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約"（1978年STCW条約）の規定を取り入れた同省の規定による。

事業主体　信託基金により運営されている。本基金は"FIDEICOMISO DE FORMACION Y CAPACITACION PARA PERSONAL DE LA MARINA MERCANTE NACIONAL"と呼称され、VERACRUZ,MAZATLAN,TAMPICO の３商船大学及び航海実習船"NAUTICA MEXICO"の運営に当たっている。基金拠出者は通信運輸省、公共事業省、内務省、文部省、労働省、国家港湾調整委員会、メキシコ石油公社、TMM 船機長協会となっている。所管官庁はかつては通信運輸省海運局であったが、現在は次官直属となっている。

教育内容　当国の商船士官教育は単に学生教育に止まらず、卒業生の再教育も行っており言わば生涯教育とも言える制度を採っている。前者を"FORMACION"と言い、後者を"CAPACITACION"と言う。IMO の技術指導を受けており、定期的に指導官が来校する。CURRICULUMは国連の世界海事大学（UN THE WORLD MARITIME UNIVERSITY,MALMO SWEDEN）に準ずる。CAPACITACION部門では船荷証券、用船契約、海上保険や各種国際条約など上級商船士官として欠かせぬLEGAL,CONTRACTUAL な知識を要するが、この面のKNOW-HOWが無いので1986年よりわが国と技術協力協定を結んでいる。この講座は"海運経営講座"と呼ばれ、５名の基金奨学生及び数名の聴講生に技術移転を行い講師・学術研究者を養成すると共に英・西両語による講義録の出版を行う。

教育制度及び海技免状制度　元来3年生大学であったが1989年より4年制大学となった。入学定員は甲板部、機関部ともそれぞれ40名一学年80名であったが、卒業生の就職難のため現在は定員を大幅に下回っている。在学中に一年間の航海実習が2年生前期と3年生後期の2回に分け6か月ずつ実施される。受験資格は高校卒業生またはそれと同等の学力がある者で入試は大変難しいと言う。生徒監による厳しい躾教育が行われる。全寮制、最近は女子の入学を認めている。商船大学卒業生は卒業後所定のアプレンテイス乗船期間を経て2甲機士の海技免状を取得する。その後商船士官として海上に勤務し3か年の海上履歴をつけて商船にもどり、約4週間の再教育をうけて1甲機士の海技免状を受ける。船機長への昇格も同様である。なお本学を文部省認可の海運・港湾大学に改編する構想が基金にあったが、政権交替もあってその後沙汰やみとなっている。

造船・修繕船　事情

造船政策　当国には100 を超える造船所があると言われる。殆どが小型漁船、内航船、作業船の建造、修繕を中心とし大型外航船の建造能力は非常に限られている。1970年代に当国は新油田が次々に開拓され石油産業が興隆しタンカー需要が急増した。また工業、通商の発展に伴い船腹不足が顕著になった。その為政府は造船所の国有化を契機に既存施設の統合、拡大、外国からの技術協力、更には助成措置までを含む造船業振興を図った事があったが、1982年の通貨危機により資金不足に陥り、その後造船所が民営化された事もあって、以降見るべき造船政策は採られていない。GUAYMAS 造船所の25.000DWT 建造船台２基及びVERACRUZ造船所の80.000DWT 建造ドックなどはこの造船振興政策の一環として1980年初頭に建設されたものである。

新造船能力と実績　大型船建造・修繕施設としてはVERACRUZ.TAMMPICO.CO.DE MADERO.（以上メキシコ湾）ENSENADA.GUAYMAS.MAZATLAN.ACAPULCO及びSALINA CRUZ （以上太平洋岸）の８か所がある。但しこの内TAMPICO.ACAPULCO及びSALINA CRUZ は海軍工廠であって商業的造船所としてはVERACRUZ（最大80.000DWT １基）GUAYMAS （最大25.000DWT ２基）を数えるに過ぎずその他の造船所の建造能力は小さい。むしろ修繕船中心と言える。但し当国の造船業は経営基盤や財政状態が脆弱で常に財政破綻を来し経営が代替りしている。1994年12月当国最大の造船所であるVERACRUZ連合造船所が倒産し会社更生法の適用をうけ一時操業を停止していたが、1995年3 月より米系外資の経営に変わりTALLERS NAVALES DEL GOLFO と改称し修繕船営業を行っている。けだし造船業はアセンブリー産業であって機械工業の裾野を要する。当国の場合主要機材や艤装機器を輸入に依存している部分が多い為、工期が不安定でかつ価格競争力も乏しい。この様な物理面での弱点に加え政府の高金利政策のため市中金利は割高で制度金融も無く簿価を押上げ、船主経済としては発注の魅力がない。かつて造船業が国営であった頃はメキシコ石油公社のタンカーを国策的見地からVERACRUZで建造した事もあったが、現在では大型船の建造実績は無いに等しい。船主は他国の輸出金融を利用して外国の造船所に新造船を発注している。

修繕船事情　修繕船能力としてはVERACRUZにDRYDOCK(最大45.000DWT)FLOATING DOCK(最大13.000DWT)がある他はENSENADA.GUAYMAS.MAZATLAN とも乾渠のキャパシテイは小さく大型船の入渠は出来ない。修繕船に於いても代替機器の国内調達が隘路となって工期に問題がでると言う。TMM などの定期船は外国の寄航地で入渠している現状の様である。特筆すべきはCD DE MADEROのPEMEX の修繕基地（EL CENTRO DE MANTENAMIENTO NAVAL）であろう。55.000DWT のDRYDOCK を持っている。

船舶検査　先に述べた航海法第３部第６省第58-64 条に船舶検査の規定がある。当国はSOLAS 条約などの批准国であり同法及びSOLAS 条約の規定に従って旗国船の建造、修繕、重大な改造及び定期、中間のサーベイは国が立会い検査を行い証明すると明文で規定している。検査官は通信運輸省の技官である。一方、船級協会についてはメキシコ船級協会は存在している様であるが実体はない様で、LLOYD'S REGISTER, GERMANISCHER LLOYDなどの活躍が目立つ。何れもメキシコ市に本部より検査員が駐在し各港に嘱託検査員を契約、配置している。日本海事協会（NK）はパナマ管轄であるが同様に当国に契約検査員を置いている。

別添5

海運経営講座・第三国研修に関わる経緯

24 JUL10.1996

プロジェクトの動機・起源

本プロジェクトは既に三年越しの懸案となっている。1989年9 月以降個別専門家が二回に亘る派遣期間中に、1994年年初おいて通算12名のカウンターパートに対し7 講座の技術移転を行い、それと同数の講義録を出版乃至編集中であった事実に鑑み、通信運輸省海運局長及び船員教育基金総裁筋からこれら貴重な知識・技術をメキシコ一国のみならず広くカリブ・中南米の域内にも普及させる方途はないかとの意向が寄せられた。その意図するものはJICAが新しい形の技術協力として推進していた" 第三国地域研修" そのものであり、この時点からメキシコ側の本プロジェクトに対する熱意が醸成されてきた。個別専門家が本学学長に初めて第三国研修の骨子を説明したのはこれに6か月先立つ1993年7月であり、また船員教育基金船員教育局長にその要請に応えメモで同様な骨子を示したのは1993年12月である。いずれにせよメキシコ側は1993年後半に第三国研修に対する咀嚼と検討を重ねていたのは事実である。メキシコ側の本件に懸ける熱意の底流には(1) TAMPICO 商船大学が国連・世界海事大学のイスパノ・アメリカの分校に指定されながら、所期の機能を果たしていないことに対する焦燥感、(2) メキシコ旗国船の便宜旗国船への移行により船員雇用市場の先行きに不安があり、商船大学の採用規模が減少し大学設備に余剰が出始めていた趨勢を睨んで、ヴェラクルス商船大学に文部省認可の海運・港湾経営講座を修士課程の大学院コースとして併設しようとする計画が絡んでいた。(3) さらに個別専門家のもとで海運経営学のエキスパートが育ちつつあり、本学のみならずタンピコ・マサトラン商船大学のPOST- GRADUATEのコースやPEMEX の委託講座の教壇にも立つようになり、また専門家の出版した講義録が広く国内の識者に高い評価を受け始めたことなどから、メキシコ側は次第に自信をもち初め、個別専門家の業績を踏まえてこれを更に発展させヴェラクルスを海運・港湾経営講座の域内における専門的調査研究の中心地にしようとする道を模索しはじめ、これらの思惑が第三国地域研修の早期実現に対する強い熱意に変わってきた。

発展・形成期

船員教育基金の命を受けて、ヴェラクルス商船大学に" 第三国研修準備委員会" (VERACURZ LOCAL COMMITTEE FOR THE REGIONAL COURSE IN THE THIRD COUNTRY)が設立されたのは1994年8 月3 日である。本学学長をPRESIDENT, 副学長をVICE PRESIDENTとし、TECHNICAL SECRETARY(カウンターパート)、LOGISTIC SECRETARY(本学専任教授) の他3名の委員を任命し、個別専門家はこれにPRESIDENT に対するTECHNICAL ADVISER として参加した。以降6回に亘りCOMMITTEE MEETING を重ねほぼ研修コースの大枠を設定した。

(1) 研修期間・時間割－8週間、土日祭日を除き週日5日間、毎日6時間の研修を行う。
(通算240 時間、120 単位)

(2) 場所　－ヴェラクルス商船大学構内

（3）講座数　　　　－10講座、（初年度は個別専門家が選定、２年度以降は参加者の意見・希望も徴し一部改編する）

（4）言語　　　　　－スペイン語

（5）講師　　　　　－専門家のカウンターパートを中核とし、これに船員教育基金、三商船大学の常勤教授より選定、ミニマム10名体制をとる。

（6）教材　　　　　－専門家出版講義録及びその提供するデイター（専門家は講義内容などTECHNICAL MATTERS に就いては全責任を負う）

本COMMITTEE MEETING は1995年９月まで定期的に開催されその間にGENERAL INFORMATION やプログラムの雛形など現存の資料はほどんどこの期間に完成を見た。一方船員教育基金はJICAの要請に応え同年９月に域内諸国に対しニーズ調査を行ったが、この頃からメキシコ全土は政権末期・人心不安定期に入りすべての政府関係の動きは急速に冷えていった。

停滞期及び復興期

1994年８月に大統領選挙が施行され、同年12月に新政権が誕生した。政治任命制度をとる当国では各行政機関の首脳部は原則的に一新される。まず新政権誕生と共に大臣・次官が更迭・新任され、若干の期間をおいて局長級のメンバーが変わる。海運局、船員教育基金の上層部もこの例外では無く前任者はそのポストにいても、短期間のうちに更迭される事が必至のため全く動かなくなった。司令塔を失い、すべての行政は一服状態となった。海運局長のポストは長期に亘り空席となっていた。新人事が決定したのは、1995年５月に入ってからである。現海運局長LIC ARTURO ALCOCER LUJAMBIO, 現船員教育基金総裁LIC JORGE CORRES SOTO の両氏がほぼ同じ時期に就任した。一ケ月おいた６月には本学学長及び３人の副学長が相次いで更迭・新任された。したがって本プロジェクトも新陣容のもともう一度やり直す事となった。当然の事ながら、新人に対する御進講、勉強会が必要であった。しかし何よりも我々にとって幸だった事は新次官の方針でメキシコ側の窓口・担当が船員教育基金一本に絞られた事及び新基金総裁のCORRES氏が真に有能で抜群な行動力をもつ人材であり、かつ基金及び大学当局が彼の統率のもと一つに纏まってきた事である。空白は短期間に埋められ、また前総裁時代にやり残されたニーズ調査は新総裁の手で迅速に行われた。同年10月には調査は完了し18か国22機関から参加希望が寄せられた。この様にメキシコ側としてはすべての準備を終了しあとは日本からの調査団を待つだけとなった。

国内向海運・港湾経営研修実施

メキシコ国内に新規の第三国研修開催の要請が輻湊しているため、本プロジェクトの優先順位が不明で従って開催年月が不透明であった事が関係者の悩みでもあった。大使館、運輸省、JICAメキシコ事務所から早期実現に向けてJICA本部宛てに要請が出され、側面援助を頂いたがその帰趨は最近まで分からず、焦燥感に駆られた。船員教育基金は再び燃え上がった熱意が徐々に冷却していく事を危惧し、第三国研修のリハーサルとして士気を向上

させるとともに講師の練度もあげることを目的として、本年６月24日から３週間かけて第三国研修と同じ10テーマを同じ講師により行う国内研修を実施した。集中講義で朝9.00AMから昼休み3.5 時間を挟んで夜9.00PMまで、一日平均講壇授業時間8.5 時間、延べ118 時間、これに加え、パネル・デッスカシオン、視聴覚授業、港湾視察研修などを行った。参加者総数16名（ヴェラクルス10名、メキシコ市３名、マンサニジョ、ラサロカルデナス、コスメル各１名）大学、海運会社、港湾管理者、海運代理店、水先人組合、商社などからの参加である。当初は第三国研修と全く同様８週間、一日６時間の講座を計画していたが、地方からの参加者の宿泊代などを勘案し若干コンパクトな計画に圧縮した。動員した講師数は合計23名だが、小職、ヴェラクルス港長など特別講師を除くと第三国研修同様15名、そのうちカウンターパート７名で全体の講義時間の約65％を分担した。小職は特別講義のほか、開会式の挨拶と閉会式での研修の講評を行いその後参加者との交流を行ったが、研修の評判は好評であった。

以上

別添6

海運・港湾経営講座第三国研修短期専門家
特別講義テーマ（提案）

1996年度：TOVALOP 及びCRISTAL 両民間協定失効後（1997年2月）の新しい油濁損害民事責任体制の展望（CLC69, FC71及びそのPROTOCOLS92 並びに既存のTOVALOP協会CRISTAL LIMITED などによるTECHNICAL ASSISTANCE/SERVICEなどの展望）

1997年度：SAR 国際条約79とGMDSS-新しい捜索・救助システムと地上局の設置、機器搭載義務などを含めた新しい海上遭難無線通信システム（IMO 規制と実施上の問題点、教育・訓練の強化など－1999年完全実施期限）

1998年度：船舶の安全と環境保全に対するIMO 規制強化と世界の趨勢（船舶による大気汚染、ISM CODE－1999年7月－2002年7月実施期限－などのIMO 規制と地域協定による寄港国の安全対策監督強化（PSC)PARIS MOU1982, VINA DEL MAR MOU1992 TOKYO MOU1994 －1996年よりSOLAS, MARPOL両国際条約にPSC 条項組入れ）

1999年度以降：期近の時点で最も時宜に適したテーマを考えたい。但し代案無ければ次のテーマを取り敢えず予定しておく。

新しい港湾計画と環境保全対策

新しい世界海運動向の展望（新展開あれば）
（海運同盟の機能低下、海運南北問題の終焉、コスト生き残り競争、サブスタンダード船対策、保護主義に対するWTO などにおける論議など）

別添７
H. 8. 8.

第三国集団研修「海運経営講座」における特別講座の内容について

１．実施期間

毎年２時間の講演を２～３回程度実施する。

２．実施者

３．講演内容（繰り返し実施するものと年々内容が変化するものがある）

（繰り返し実施するもの）

○海運行政のあり方

・海運自由の原則の維持

・規制緩和（独占禁止法の適用のあり方等）

・海運税制、船舶融資

・船舶解撤の推進

○その他関連の運輸行政のあり方

・港湾開発のあり方

・モーダルシフトの推進

・陸上輸送との連携

（年々内容が変化するもの）

○海運に関する国際的な動き

・ＷＴＯ（海運継続交渉）

・ＩＭＯ（ＩＳＭコード、ＨＮＳ条約、油濁補償関係条約の改正等）

・ＯＥＣＤ（海運政策の検討）

○先進海運国における海運法制とその問題点

・米国、ＥＵの政策

PRIMER CURSO DE CAPACITACION REGIONAL EN EL AREA DE ADMINISTRACION DE EMPRESAS NAVIERAS 1995.

FOTOGRAFIA

SOLICITUD DE BECA

PARTE I. DATOS PERSONALES DEL CANDIDATO			
1. NOMBRE: Apellido paterno, materno y nombre(s)			
2.- DOMICILIO PARTICULAR:	Calle y número		
	Colonia		
	Ciudad	Estado	
	Código Postal	Teléfono(s)	
3.- SEXO:	Masculino	Femenino	
4.- FECHA DE NACIMIENTO:	mes	día	año
5.- LUGAR DE NACIMIENTO:	Ciudad o Población		
	Provincia o Estado		
	País		
6.- NACIONALIDAD:			
7.- ESTADO CIVIL:			
8.- NOMBRE DEL BENEFICIARIO DEL SEGURO: NOMBRE Y DIRECCION de la persona a notificar en caso de emergencia			
9.- INFORMACION ACADEMICA:			

INSTITUCION EDUCATIVA	AÑOS		DIPLOMA y/o CERTIFICADO	AREA ESPECIFICA DE ESTUDIO
	de	a		

PARTE II. DATOS DE LA ORGANIZACION DONDE TRABAJA		
A. NOMBRE DE LA ORGANIZACION ACTUAL:		
1.- DOMICILIO PARTICULAR DE LA ORGANIZACION:	Calle y número	
	Colonia	
	Ciudad	Estado
	Código Postal	Teléfono(s)
2.- TIPO DE ORGANIZACION:		
3.- PUESTO:	Puesto:	
	Antigüedad:	
4.- DESCRIPCION DE SU TRABAJO:		
B.- PUESTOS ANTERIORES		
5.- NOMBRE DE LA ORGANIZACION ANTERIOR:		
6.- PUESTO DESEMPEÑADO:		
7.- FECHAS:	Ingreso	Egreso
8.- NOMBRE DE LA ORGANIZACION ANTERIOR:		
9.- PUESTO DESEMPEÑADO:		
10.- FECHAS:	Ingreso	Egreso

Por medio del presente documento, solicito me sea concedida una beca para participar en el Primer Concurso de Capacitación Regional en el área de Administración de Empresas Navieras.

Estoy plenamente enterado de las condiciones y requisitos de todo tipo que debo satisfacer y si obtengo la beca quedo comprometido a:

1.- *Comportarme en todo momento en forma estipulada en los ordenamientos legales vigentes en los Estados Unidos Mexicanos y en los lugares en que deba desempeñar en mi condición de becario.*

2.- *Dedicarme exclusivamente, durante el período de duración de la beca, al programa de capacitación en la forma en que disponga "LA DIRECCION GENERAL DEL FIDEICOMISO DE FORMACION Y CAPACITACION PARA EL PERSONAL DE LA MARINA MERCANTE NACIONAL (FIDENA)" y "LA AGENCIA DE COOPERACION INTERNACIONAL DEL JAPON (JICA)" y respetar totalmente las condiciones de hospedaje, práctica, visitas y demás actividades programadas para el curso.*

3.- Abstenerme de realizar actividades políticas, comerciales u otras que no estén comprendidas en el programa de capacitación.

4.- Regresar a mi lugar de origen al término de la beca.

5.- Regresar a mi lugar de origen antes del término del curso, si a juicio de "LA DIRECCION GENERAL DE FIDENA" y "JICA", no reúno los requisitos mínimos para continuar el curso, o bien si el aprovechamiento que demuestre no es satisfactorio, perdiendo todo derecho a la constancia del curso.

C.- JUSTIFICACION DE LA SOLICITUD

Expresar en no más de 500 palabras, su deseo por participar en el curso:

CORRESPONDENCIA: *Favor de indicar el nombre y dirección de la persona de la organización de su país a quien se deba informar lo relativo a esta solicitud*	*Nombre:*	
	Dirección:	
	Teléfono(s):	*Telex:*
		Telefax:
FECHA	**FIRMA DEL SOLICITANTE**	

COUNTRY REPORT

FOR THE GROUP TRAINING COURSE IN SHIPPING & PORT MANAGEMENT

COUNTRY ____

NAME OF PARTICIPANT __________________________________

NAME OF ORGANIZATION ________________________________

1. Governing Authority & Organization Chart.

- For Merchant Marine
- For Seafarers Education & Marine License
- For Marine Safety (Harbour Master Office)
- For Port

2. Seafarer's Education

- No of institute and level (university, college, high school)
- Marine license system
- Signatory to S.T.C.W., 1978 or not
- Approximate number of graduates each year (deck and engine, separately)
- Approximate number of licensed seafarers

3. Cargo Movement

Five years statistics of cargo movement (1992-1996)

- Classified by international trade and domestic trade
  (The following questions are for international trade only)
- Classified by export and import
- Classified by containerized cargo and bulk cargo
- Classified by main commodities
- (such as petroleum, steel products, agricultural products, forestry product, machinery, minerals, food, feed, etc.)
- Classified by origin and destination
- (name of country)

4. National Fleet

- No of major shipping company and its own/operating tonnage (kind of vessel, gross or deadweight tonnage)
- Main liner route
- Member of main shipping conferences

5. Port

No. of main ports classified by commercial, industrial, specialized terminal, marina or fishery.

- Port administrative body
- Governmental or private
- Self-sufficient or not
- Port labour system
- Degree or containerization

6. Laws governing merchant marine and port

- Name of law
- When it is enacted
- Governing objects
- Relationship with civil/commercial codes

7. International conventions

(If your country is signatory to the following conventions, please mark them).

- International Convention of Safety of Life at Sea
  (SOLAS 1974/1978)

- International Convention on Regulations for Prevention of Collision at Sea
  (COLREG 1972)

- International Convention for Prevention of Pollution from Ships
  (MARPOL 73/78)

- International Convention on Civil Liability for Oil Pollution Damage
  (CLC 69)

- International Convention on Establishment of an International Fund for Compensation for Oil Pollution
  (FC 71)

- International Loadline Convention
  (LC 66)
- International Convention for Safe Containers 1972
- International Convention for Inmarsat Communication System 1976
- International Convention on Standard for Training Certification and Watchkeeping of Seafarers.
  (STCW 78)
- International Convention on Maritime Search and Rescue
  (SAR 79)
- International Convention on Limitation of Liability for Maritime Claims
  (LLMC 76)
- Hague Rules 1924/68/79
- Hamburg Rules 1979
- Multimodal Convention 1980
- International Convention on Oil Pollution Preparedness, Response and Cooperation 1990.

JICA